夕刊 十一月二十七日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

華北明朗化目睫に迫る

宋哲元氏の決意で北支自治誕生へ

宣言は數日中に發せん

【北平廿六日發國通】二十六日宋哲元氏は來平要請電を韓、商兩巨頭に發すると同時に電文全部を一般に發表した、これは即ち宋哲元氏が華北の時局收拾の爲決然たる決意を固めたことを表明したもので華北の時局は茲に落着くところに落着いた譯である
防共自治宣言による明朗華北の誕生はここ數日中の事となつた
北支の自治運動は廿五日の戰區に於ける冀東防共自治委員會の成立により果然拍車を懸けられ今や河北、察哈爾、北平、天津、即ち二省二特別市を通ねる自治體の出現は目睫の間に迫つた、之が實施の曉には當然冀東防共自治委員會も合流するが日支合作地帶である戰區はその特質の爲特別區として取扱はれる筈

意を表し直ちに參加し得ない立場に置かれてをり、結局暫く好意的傍觀の態度を採り、追つて參加する筈でその間南京政權に對しては不即不離の極めて曖昧なる態度をとり宋哲元氏の自治政權に對して反對的擧動には絕對に出ない確實なる諒解が成立してゐるものと信ぜられてゐる、一方商震氏もその環境が韓氏と相似てをり彼の側近者は何れも民衆の離叛重の必要を力說しつゝあるので或は宋哲元氏の要請に應じ來平、自治敢行に參加するかも知れない、何れにせよ一切は今明日中に判然する譯である

昨日宋氏邸に於る宋派將領會議

商、韓拒まば宋派一色で敢行

【北平廿七日發國通】宋哲元氏は廿六日夜自邸に蕭振瀛、秦德純、陳覺生、馮治安、趙登禹、劉汝明氏等部下將領を集め重要會議を開催
一、自治施行の順序方法
一、綏靖主任任命に對する態度
の二項目につき協議を重ねたが自治に關しては商、韓兩氏が來平せざる場合は宋派一色にて敢行、徐ろに南巨頭の參加を俟つこととし、綏靖主任受諾に關しては右の如き自治決意成れる際改めて諾否の返事に及ぶ必要もないとの意見到達した

各機關占領の華北自治民自衞團解散す

【天津廿七日發國通】非常手段を以て天津各機關を一時に占領、自治請願を爲した華北自治民自衞團は二十七日午後五時解散した、自衞團司令王明、監視隊長田治平の兩氏は當局に逮捕され取調べを受けてゐる、市內は昨日來謠言盛にして人心不安に陷り外國租界に移轉するもの依然繼續し二十六日夜一時より又戒嚴令が布かれた
脅威を受ける立場にある爲防共自治に双手を擧げて贊

韓、商兩氏の態度

一兩日中に判然せん

【北平廿六日發國通】韓、商兩巨頭に對する宋哲元氏の來平要請電は電文甚だ簡潔であるが內容は極めて含蓄に富み華北の分離獨立決行の第一聲を放つたものである、即ち蔣介石政權よりの離脫獨立により華北の防共自治斷行を熱望する民衆の聲が全華北を覆へる現實を確認し速急に此人民の聲を實行し華北の安定を期せんとする斷乎たる決意を表明したものである、韓、商兩巨頭が果して來平するや否やは一兩日中に決定するが現在までのところでは韓復榘氏はその地盤が直接蔣介石直系部

來月子の日に澄宮殿下御成年式

【東京國通】士官學校御在學中の澄宮殿下は來月子の日御誕辰で滿二十年の御成年に達せられるので同日午前九時半宮中賢所で成年式を擧げさせられる旨宮內省から發表された

自治運動利用の陰謀

不逞は嚴重取締れ ＝駐屯軍當局談＝

【天津廿六日發國通】廿五日突如勃發した天津に於ける自治請願民衆運動に對し當地支那側當局が嚴重取締を行つてゐることに關しわが支那駐屯軍では飽迄不干涉の態度を闡明し左の當局談を發表した
南京政府の北支自治政權不承認の態度が傳へられるに及び只管自治の實現を待望せし純眞なる民衆の自治運動は俄然沸騰し事態容易ならざるものあるを思はしむるに至つた、この民衆の止むに止まれぬ眞の欲求に基く運動は徒らに彈壓を以て解消し得るものに非ず、支那官憲は宜しくその動向を明察し之れに善處するを要す、然し乍ら此の民衆運動と反蔣的運動とは自ら動機を異にするものがある、苟くも不逞の陰謀を抱き此機を應用して所期を達成せんとする者あらば之は純良なる民衆の要請をゆがめ北支大衆の希望達成の障害となるばかりでなく却つてこれを犧牲に供するものである
故にこれに對し當地支那當局が其の權限を以て取締りに任ずるは徒らに自治運動を抑壓するものと趣を異にし當然の處置にして中正公平なる態度を持する吾人はその徹底を要望するものである

國務院臨時會議

滿洲國々務院では本二十七日臨時會議を開催、左記につき討議した
一、爲替管理法案

閻錫山氏太原着

【天津廿七日發國通】六中全會、五全大會に出席中であつた山西省、綏靖主任閻錫山氏は二十六日午後六時半南京より太原に歸來した

行政院の對北支處置事態惡化に拍車

磯谷武官、陳氏をきめつく

【上海廿七日發國通】湖北省主席張群氏は午後二時より四時まで、福建省主席陳儀氏はこれに續き午後五時より武定路の陸軍武官室官邸に磯谷少將を交々訪問、今朝決定を見た行政院の對北支處置に對し日本側の諒解を求め
行政院案を日本側が承認するならば日本側の提示せる對支政策三原則に協調する意思ありと述べたが之に對し磯谷少將は南京政府が斯る處置をとるは火に油を注ぐ如きものである、かゝる場合には油をかけずに水をかけるべきだ時期は既に遲いと言下に一蹴した、之に對し陳氏は「然らば閣下の仰せられる水とは如何なるものか」と應酬すれば磯谷少將は「この事態を匡救せんとせば赤化防止の爲日本と軍事同盟を結び幣制改革令を即時取消す事だ」と答へ、陳氏はその旨を蔣介石氏に傳達すべき事を約して午後七時會見を終つた

有吉駐支大使近く南京入り

對日具體策の提示を要求

【上海廿七日發國通】有吉大使は本省の訓電に基き近く再び蔣介石氏と會見し前回蔣氏が我が對支三原則に對して言明せる支那の對日具體策の披瀝を求める筈であるが、蔣介石氏は問題の詳細に就ては前回蔣作賓大使に全權を附與し日本側と折衝せしめる事を正式に申出て居るので蔣介石氏が前回の約束通り具體的方針を決定し、誠意の認むべきものがあれば細目折衝は蔣大使を相手として交渉を進める事となる模樣である、有吉大使の南京行期日は未確定であるが兩三日中に決定するものとみられて居る

南京政府の使嗾する反滿抗日工作暴露

六名を北支に潛入策動さす

南京政府が藍衣社を使嗾し依然として反滿工作を續けてゐる事發覺した―南京參謀本部少佐參謀李聘初其他常蔭森、陳沈波、盧子蔡、黄楚三、向榮の六名は何れも蒙古、察哈爾綏遠等に入つて日滿の動靜を探り特に察哈爾省に於る日滿合作を牽制しあり而も屢々北平に集合協議なし居り之が經費は毎月六百五十元にして李聘初が受取り適宜に使用してゐたが去る廿三日陳沈波の結婚に名を借り北平に集會せし折李を逮捕調査の結果右の如く判明した

迷信を利用して反滿宗教工作

―調査隊十餘名を滿洲へ―

蔣介石が匪賊、民衆藍衣社を使嗾し盛に反滿工作を續けてゐる事は左の如く、宗教を利用し調査隊を派遣せる例にても明かである
在北平反滿抗日團體は滿洲國內に於る軍狀並に民心の動向調査のため最近十名餘の調査隊を編成し陸路滿洲國に潛入せしめたがこの潛入者は何れも僧侶の服裝をまとひ主として喇嘛廟等に付いて表面官憲の注目を避けて暗躍してゐるその方法は儒教理教家裡佛教道教を合同せる大團體を組織し支那人特有の迷信を利用し反滿抗日を宣傳し先づ初步的工作として家裡教の統制より始め現在迄に概ね次の如き過程を辿つてゐる、昨年中北京在住の靑幇の首領を王約愍が華北靑幇公所の設立を發起するや中央委員陳立夫は之に注目し杜月笙、黄金榮、柳虎等と協議の結果王約愍を南京に招致し本年二月廿日會議を行ひこの機會に全國の家裡教管理委員會を組織して全國を六大區に分ち毎月軍事委員會より經費三十六萬圓を支出し各區二十萬人全國百廿萬人を六月末迄に獲得する計畫を樹て進行中であつた

大藏豫算最後省議

藏相官邸で開催

【東京國通】高橋藏相は廿六日午後一時より官邸に矢吹、津島兩次官以下豐田參與官外各局長等を招集して省議を開催、賀屋主計局長より午前中に計數整理を完了した查定原案に就き說明した後事務當局は豫算編成方針通り明年度の自然增收を目安として公債發行漸減を目指して查定したものであるから今後は閣議席上の藏相の奮鬪に期待する事とし高橋藏相も決意を披瀝し擧省一致閣議に臨むべく申合せた

昨日の豫算閣議

纏らずに散會

【東京國通】定例閣議は廿六日午前十時廿分より開會、各閣僚全部出席、先づ廣田外相よりロンドンタイムスに「北支事件の背後に於て日本が之を操縱してゐる」との論說があつた旨を報告し、次で川島陸相は陸軍省着の北支狀況に就き報告、岡田首相より豫算閣議は午後三時より開催する旨諒解を求め、各閣僚も圓滿協力願ひ度いと述べ十一時散會した
尙同閣議は午後三時より總理官邸で行はれたが午後六時三十五分纏まらぬまま散會した

明年度租稅增收見積一億圓

【東京國通】廿六日の豫算閣議に提出された十一年度豫算大藏省原案によれば歲入見積額は經常部で十四億四千八百萬圓、臨時部七億八千九百萬圓となつてゐるが歲入見積額は租稅總額九億二千四百八十萬圓にして前年度より九千六百萬圓の增、印紙收入總額七千九百萬圓、前年に比して二百五十萬圓の減、臨時利得稅四千二百萬圓、前年に比し自然增並に當然增を合せて約一千二百萬圓の增となつてゐる而して租稅中增加見積りの著しきものは所得稅の二億三千二百萬圓並に關稅の一億五千八百萬圓、次で營業收益稅の六千二百萬圓、砂糖消費稅の八千七百萬圓、織物消費稅の四千二百萬圓となつて租稅に於て九千六百萬圓の增收を見積つたことは大藏省當局が明年度豫算編成に當り我國經濟界が依然として軍需工業を始め一般的に好景氣を持續するものなりとの觀測に立脚したものとして頗る注目されてゐる

豫定を一日早め蒙古代表滿洲里を引揚ぐ

【滿洲里國通】滿蒙會議決裂の翌日廿六日は零下三十二度の極寒廿七日歸國の豫定であつた外蒙代表一行は豫定を變更廿六日午後零時四十分ザ鐵臨時列車で引揚げた、驛頭には滿洲國側代表凌陞以下全部の見送りありこゝに六ケ月間の長きに亘つた滿蒙會議も終つた、尙一行列車は客車一輛食堂車從事員豫備車各一輛に先般購入せし流線型自動車を積んだ無蓋車一輛の編成であつた、滿洲國側代表は二十七日午前九時五十分發列車で全部引揚に決定廿六日夜は代表部主催の各機關に對するお別れの宴が開かれる事になつた

內閣制度發布五十周年祝典

【東京國通】二十六日の定例閣議で來月二十二日は內閣制度が布かれて五十周年に相當するので當日は祝典を擧行することを申合せた

民政黨へ 小山、野田氏入黨

【東京國通】民政黨では午後三時より本部で幹部會を開き國同よりの小山谷藏、野田文一郎兩氏の入黨を正式承認した

河本理事大連へ

河本滿鐵理事、古川前鐵道出張所長は二十七日午前九時發で南行した

人事往來

▲津田中將(前駐滿海軍部司令官)二十七日午前東京へ
▲中川健次郎氏(大連會社員)二十六日午後來京ヤマトホテル
▲植村秀一氏(ハルビン市公署)同
▲小林次郎氏(貴族院事務局)同
▲辻熊郎氏(大連三井物産)同
▲山内彦三郎氏(牡丹江民會長)同
▲萩野武夫氏(上海會社員)同
▲成富道成氏(東京實業家)同
▲安達武士氏(奉天總領事館內)同
▲高森芳氏(滿鐵經調)同
▲小笠原盛香氏(大阪丸善會社員)二十六日午前來京名古屋ホテル
▲宮川英三郎氏(大阪山口商店員)同
▲櫻内辰郎氏(大連取引所長)同
▲石井龍次氏(安東鑛業)二十六日午後來京名古屋ホテル
▲上野井一氏(大連不破洋行)同
▲綱本淺吉氏(陸軍一等主計正)同
▲佐藤健三氏(滿洲石油重役)二十六日午前來京國都ホテル
▲草野松雄氏(教化副領事)同
▲今城悅次氏(滿洲特產中央會)同午後來京
▲石原次郎氏(關東局理事官)同
▲張義人氏(同)同
▲角滿太郎氏(協和公司)同
▲松本一浩氏(運送業)同
▲伊藤長次氏(藥劑師)同
▲矢部榮一氏(鐵路總局)同
▲田中孝平氏(ハルビン鐵路局)同
▲富永純太郎氏(滿鐵社員)同

その日く

□ 蔣介石怒つて殷汝耕の免職逮捕を命ず、果して免職され逮捕されゝば……
□ "外蒙とは隣接せる、不可解にして、危險なる地域と認める"と外交部いふ
□ 近ごろもつて胸のすくやうな解釋であり聲明である、これからが實行の上で……
□ 昭和十二年手招く、一年を顧みて事繁かりしを思ふ、今なほ北支に事繁し
□ この時正月料理の講習、日本及び日本人の持つ無駄の一つ何とか省く法はないか

＝女?女?女?＝

8 ……誤解 (八) 飯田蝶子作

笑ひながら、昌造も何んでも無いと斷ら云つたが、實のところ、僕は、貴女の事を好きになりましたと、云つて見たい氣持なのだ。だが、出しぬけにそんな事を云つたら、千滿子のはうでは吃驚するだらうし、自分をからかつてゐるとしか受取らないだらう。
『ねえ。千滿子さん……』
千滿子は、昌造が、何でもないと云つたので、其の儘、廊下を去いて行かうとしたので、昌造は、あわてゝ、もう一度呼んだ。
『あら、何ですの? 飛田さん』
『僕、手傳つて上げませうか?』
昌造が、半ば冗談のやうに、半ば眞面目らしく云ふと、千滿子は、わだかまりのない調子で、
『えゝ。でも、手傳つて戴いては濟みませんわ』
『そんな事ありませんよ。何だつたら、僕、手傳つて上げる……そりやさうと千滿子さん。今週の松竹館面白さうですネ。貴女、活動好きでせう?』
飛田は、こゝへ下宿してから、もう二年近くなるが、まだ、千滿子の趣味については何も知らなかつた。
今までは、千滿子に對して無關心でゐたし、それを知る必要もなかつたからであつた。だが、この年頃の娘としたら十人が十人までキネマ・ファンであると考へた。
すると、案の狀。千滿子は、
『えゝ、面白さうよ。『與太者三人男』が封切りになつてゐますわ。それから、林長二郎のオール・トーキー』
抑々、詳しく知つてゐた。やつぱり、昌造の想像した通り、其の方面のファンだつた。
飛田は、いゝ機會を得たとばかりに、
『どうです。千滿子さん、僕も、一體映畫好きなんですが、今度、一緒に出かけませんか……』
ぶッつけに斷ら云はれて、千滿子は、面喰らつたらしく、
『えゝ?』
と云つて、瞬せない表情で、昌造の方を見詰めてゐた。
『僕なんかと出かけたら、あの人に怒られるかなア』
彼は、故意とユウモア化して、斷ら言つた。本氣で、こんな事を言つたら、かの女のはうで怒つてしまふだらうし、さうかと云つて行くことを斷られると、自分が談判しなければならない。
それにもう一つ、彼女の氣持を探る意味にもなると思つたところから、強いて、ユウモアを含ませて云つたのだつた。しかし、昌造としては、一生懸命だつた。
すると、千滿子が、さつと顔を赧らめて、
『あら。彼の人つてどちらのこと。貴下こそ、あたしなんかと一緒に行くと、それこそ大變ですわ』
と、逆襲して來たので、昌造は吃驚した。まさか、千滿子の口から、こんな事が出やうとは豫想もしなかつたのだ。
彼は、瞬間。千滿子を見詰めるやうにしてゐたが、
『千滿子さん。僕には、不幸にして、千滿子さんみたいに怒られる人なんか無いんですよ』
今度は、昌造も、本氣で斷ら言つた。だが、これでは冗談めいた口調になつてしまつた。
昌造の考へでは、千滿子を映畫見物にでも同伴して行つて、さて其の歸りに、喫茶店へでも入つておもむろに……と、こんなやうなプランが出來上つてゐたのだ。
だが、この調子では、さうは行かない。と云つて、このところの呼吸と言ふのが、至極難しい。
兎に角、思ひ切つて言つてやれと云ふ、冒險な氣もちになつた。

吾等の瀧孃を送る
地元人の餞むけ
近く大々的に後援會を組織
十二月中旬に氷上大會も開く

萬國氷上大會の招聘で世界の檜舞台へ、わが國女子スケート界を代表して出場する瀧三七子孃のために、出身地新京をあげて後援會を組織し、晴れの壯途を祝福しやうとの議が各町内會々長の間に上つてゐたが、同町内會長側では新京體育聯盟と提携して同孃の行を一層盛んにしたいといふので、二十七日打合せの結果、近く新京に瀧孃をはじめオリムピック出場滿洲代表氷上選手一行を迎へて、大々的に送別スケート大會を開催しこれが入場料の純益金を以て一行の旅費の一部に資するとゝもに、一方瀧孃後援會員には會費一圓を以て記念章を頒ち、同會員には無料で觀覽せしめることゝなつた、なほ瀧孃の新京出發は來年一月五日の豫定であるが、スケート大會の時日その他は追つて決定されるはずである

滿洲建國に盡瘁した功勞者への敍勳
―廿八日國務院より發表―

滿洲國建國に盡瘁した關東軍關係の本庄大將以下四千九十六名及び滿洲國の殉職者官吏後藤中央觀象臺長以下八十七名に對する敍勳は廿八日國務院より發表されるが、右敍勳者の階級別は左の通りである

一、日本帝國陸軍將官三九、佐尉官六五、准士官二四六、下士官一、九三一、兵士一、一七五名
二、右死歿者　將官二、佐尉官一三、准士官二、下士官二四、兵士一三名
三、滿洲國側（死歿者）簡任一、薦任一〇、委任三五、其他二〇、校尉官一二、軍士官七、兵九三名

なほ日本側への勳章勳記は近く外交部より日本大使館を經て傳達される筈である

滿人理髮屋
内職は萬引

二十六日午後七時頃市内日本橋通新京百貨店呉服部に於て人絹錦紗一反時價七圓三十錢を竊取逃走せる支那人を新京署員が發見逮捕本署にて取調べると本籍天津生れ鐵道北孟家橋居住理髮師董玉恩（二二）で輩は理髮師なることを奇貨

傷病兵士一行
四十七名明日凱旋

二十七日午後三時四十分着哈爾濱より傷病兵二十六名、また同三時二十四分着拉法から同じく九名來京、衛戍病院に入院中の傷病兵と合せ四十七名が二十八日午後二時四十分發で故國へ凱旋の豫定である

近づく正月（型さまざまの羽子板）

日本ペンクラブ
發會式
昨夜盛大に擧行

【東京國通】文學にあ國境かつてはならないと遲蒔ながら世界四十餘のペンクラブに倣つて外國のペンクラブが愈々誕生、廿六日午後六時から丸の内東洋軒に發會式並に第一回總會が行はれ德田秋聲、里見弴、室生犀星、長田秀雄、新居格、有島生馬、堀口大學、柳川健、蘆田均等々新人小說家、劇作家、評論家、美術家新聞雜誌記者の一流どころ五十四名を網羅、會長島崎藤村立つて抱負の一端を交へ珍らしい長い挨拶を述べペンクラブ世界聯盟總裁よりの激勵祝電を朗讀し文學上の國際的理解促進、各國文筆家相互の親和增長の必要を强調し會報の作成その他日本精神の海外發揚等中々物凄い鼻息の中に十時散會した

とし常に百貨店其他混雜する場所にて仕事をなすが如く見せかけ數回に亘つて竊盜をなしてゐたものである

津田中將離京
＝出發に當り懇篤な挨拶＝

津田前任駐滿海軍部司令官は廿七日午前九時日滿官民多數歡送裡に新京發一路東京に向つたが、出發に際し左の如き離滿挨拶を述べた

昨年十一月廿七日着任以來奇しくも滿一ヶ年に當る今日十一月廿八日滿洲を離れまするに當り才何等爲すところなきに拘らずその間日滿各方面より與へられました御援助御厚情に對しまして厚く感謝する次第であります、滿洲國も旣にその基礎確立今や獨立國家として動かすべからざる地位を占むるに至りましたが、尙將來成就さるべき仕事は多々ありと考へられます、今後とも日滿各位の御努力に依りその一日々々隆盛に赴きますことは私の切に望み願ふところで御座います、私もたとへ滿洲を離れましても及ばず乍ら出來得る限り滿洲國發展の爲めに協力致し度いと存じて居ります

田中商會の
倉庫破り御用

原籍河北省樂亭縣生れ住所不定無職李海三（二九）は本月初め頃より市内梅ヶ枝町四丁目田中勝商會支店倉庫を破壞し數回に亘りラヂエーター時價八十五圓を竊取、城内古物屋に賣却して遊惰に耽つてゐたが二十六日午後七時頃新京署員に逮捕され目下嚴重取調べ中

哀れな病人
救濟方を哀願

北海道生れ、市内朝日通添田方佐藤龜治氏（二八）は去る八月初旬以來病臥し滿鐵病院に入院中だが元來無職のうへ無一文でしかも頼るべき知べもなく救濟方を哀願したので小澤福祉委員も同情し入院料その他の免除方を二十七日地方事務所社會係へ申出た

奉天地方警察學校
改稱式を擧行

奉天警察官練習所は今回新校舍に移轉するとゝもに奉天地方警察學校と改稱二十九日午前十時移轉並に改稱式を擧行する

歳の瀨もあと一月
市中の正月準備
家庭の主婦達御用意は

泣いても笑つても餘すところ今年もあと一ヶ月に迫つた、街頭は商店の大賣出し、柑橘類の陳列、毛織物、反物の出張賣出しなどでいよ〳〵歳の瀨を思はせるものがあるが、

家事講習所

では來る三日午前九時から午後四時まで一般奥さん方のために正月用重詰料理の講習會を催す、會費三十錢（材料不要）講師竹石吉助氏、申込は當日露月町の會場で受付ける、西公園では早くも正月

床の間飾り

用の松竹梅の材料も廣島縣に五、六十鉢分を注文し、支那水仙は旣に公園に着いて溫室に活けてある太子堂の聖德會の

門松註文も

五百程の注文をとつてまだ注文とりに走つてゐる、門松の材料は蜜柑、草類は廣島に、竹、松は下關にえび類は伊勢にそれ〳〵八百個分位注文してあり十日すぎに到着の豫定である

建築現場で
苦力の窒息死

二十七日午前七時頃市内祝町一丁目二番地滿鐵衛生隊新築現場に苦力の燒死體あるを通行人が發見屆出により新京署では直ちに係員が警察醫と共に檢證を行つた結果本籍河北省生れ市内柴田工務所苦力楊×明（四三）で二十六日夜寒のため炭火で暖をとるうちいつしか睡眠を催し木炭瓦斯で窒息したものと判明した

祝賀飛行の
大每機歸還

【東京國通】去る十一月十日行はれたフイリツピン共和國政府始政式を祝賀して大每東日からマニラに派遣されたロツクヒード機は出發以來十七日振りで往復八千三百キロを翔破廿六日午前十一時四十分羽田着歸還した

御慶事を間近に
光榮の乳人決定

【東京國通】國を擧げて御待ち申上げる　皇后陛下の御慶事も愈々十二月中旬と拜され宮内省では萬端の御準備を進めまゐらせ、來月早々からは宿直員を增加する事となつたが、新王子殿下に奉仕する光榮の乳人は豫て關東一府六縣及び靜岡、山梨、長野各地方長官から推薦の候補者を皇后宮職及び侍醫寮で愼重詮衡中のところ廿六日正二名、控二名を決定し、宮内省から發表された

正二名は左の如し

蒲田區矢口町四六二　福島農林技手妻　福島　治（二三）
群馬縣高崎市相生町五二　高崎聯隊區司令部副官　狩野步兵少佐妻　狩野のぶ（三二）

街の日記

新京鐵道出張所長
更任披露宴

滿鐵新京鐵道出張所長兼總務部駐在員更任披露は二十六日午後六時からヤマトホテルへ日滿各界の代表百數十名を招待、宴酣なる頃河本理事、新所長伊藤太郎氏、舊所長古川達四郎氏の更任と鐵道出張所長の職能は地方事務所ならびに商事部關係の事務を除く滿鐵の社業一切を取扱ひ尙自分の不在中代理を行ふ旨を述べ之に對し來賓を代表して李交通部大臣は古川氏の功績をたゝへ伊藤氏歡迎の辭を述べ歡談二時間ばかりで散會した

滿洲建築協會
建築展覽會

滿洲建築協會では來る二十九日から十二月一日まで三日間協會創立十五周年を記念し建築展覽會を開催する、會場は八島通土建協會、宮内省御貸下の宮内省廳舍圖その他内地滿洲の建築關係資料多數を出品する

大村副總裁の
豫定變更

大村滿鐵副總裁は二十七日來京の豫定のところ、二十八日午前八時五十分着に變更した

武田地事所長
今夜歸京

赴連中だつた武田新京地方事務所長は二十七日午後七時四十五分着歸京の豫定

佛敎青年會例會

十一月廿八日午後七時より西本願寺にて「業思想に就て」西本願寺主任　光岡慈昭氏

寄附

新京城内安藤方吉氏は先頃寄禍に遭つた際、國防婦人會康德分會員が馳せつけ活動した謝禮として二十七日金一封を同分會基金に寄附した

國防費豫算
午前中事務折衝

【東京國通】廿六日の第一回豫算閣議は遂に最後的解決まで漕ぎつけることが出來ず豫算閣議は廿七日に持越されたが問題として殘されてゐるのは陸海軍の國防豫算だけであるから廿七日午前中に陸海軍兩省と大藏當局との間で事務的折衝と政治的折衝とを並行して行つて何とか妥協點を見出す事に双方とも協力してゐるから午前中に軍部當局と大藏當局との間の話合ひがつけば午後一時半からの豫算閣議は案外すら〳〵と運び同日中に最後的決定を見る事になるであらうと政府首腦部は樂觀してゐるが萬一陸海軍の態度が強硬で妥協方法の曙光が見出せない場合は閣議に於る紛糾を避ける爲廿七日の第二回豫算閣議は繰延べられる事になる模樣

賓縣南方で
五十名の匪團を掃蕩

【ハルビン國通】島本部隊の宮内部隊は廿四日午後一時三十分頃盤道嶺（賓縣南方四里）に於て匪首不明の約五十の匪團と遭遇、之と交戰して敵匪を潰亂せしめた、敵の損害遺棄死體七其他詳細不明なるも此の戰鬪に於て我方曹長松岡

編成難の切拔け策
特別會計より
―千二、三百萬圓捻出―

【東京國通】軍事費の問題で難關に逢着した明年度豫算編成に就て政府筋はその圓滿なる解決を圖る爲目下各閣僚間で對策を考究中であるが、内田鐵相は過般來望月遞相、後藤内相並に兒玉拓相等諸閣僚と協議した結果、復活財源として左の如き方法により特別會計より約千二、三百萬圓程度を捻出する事になり、岡田首相並に高橋藏相にその旨を申出るに至つた

一、鐵道特別會計五百四十萬圓
一、遞信特別會計二百四十萬圓
一、各植民地特別會計五百萬圓

尙右は何れも各特別會計剩餘金より捻出する事とし大體昭和十一年度一ヶ年限りとして單行法を制定する事になつてゐる

行誠君（原籍岐阜縣）は壯烈なる戰死を遂げた

デル・リオ孃
東京に入る

【東京國通】美しいスペインの舞姬マヌエラ・デル・リオ孃は廿五日午後東京驛着入京した、同孃は約一ヶ月日本に滯在東京、大阪、神戸、名古屋京都等で公演を行ひ上海マニラを經パリーに歸る豫定である

高橋是賢子
視察に來京

滿洲化學工業社長高橋是賢子は二十八日午後五時三十分來京の豫定である

小林、向後
二烈士の
顯彰碑除幕式擧行

【ハルビン國通】ハルビン郊外五兆屯に建立中の小林、向後二烈士の顯彰碑は廿五日竣工したので愈々來る十二月五日除幕式を擧行する事に決定したが明春改めて盛大なる慰靈祭を執行する事となつた

あす（廿八日）

△新京聯合防護團打合　午後二時ヤマトホテル
△滿鐵運動會支部劍道大會打合　地方事務所内
△傷病兵士四十七名出發　午後二時四十分
△高橋是賢子爵　午後五時三十分來京

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇長唄「紀州道成寺」【東京】住吉小四郎外▲七・三〇獨唱と管絃樂【東京】▲八・〇五ラヂオ小說「兄と弟」（一）【東京】坂東簑助

けふの銀相場

國幣對金票　一〇〇三〇〇一
鈔票對金票　一一〇三〇〇一

仙人掌

手近かにあつた裁縫バサミのネジをぬいて柄に布を巻いたやつを二本帶の間に挿込んだ小政▲どうもちと話が變でせう、次郎長身うちの小政ならきり〳〵と腹に卷いた晒一反ドスを一本…といふ段取りとなるんですが▲これは千鳥の小政が滿洲事變勃發の夜奉天の「よね家」に居た時の思出話▲萬一危急が身に迫つた場合あたしだつて日本の女だ敵の一人や二人、眼玉を突刺すか橫ッ腹を抉つて冥途の道づれ▲と、悲愴な覺悟をきめたんださうであります、同じく今千鳥に居ります千代吉姐さんこれはカミソリをチリ紙に包んで帶の間、▲まことに凛々しいいでたちでした、だが、まぢかでぶつ放す重砲彈がズドンビューと飛ぶと▲ワッおねえちやんと悲鳴をあげて千代吉姐さんの袂の中に飛び込んだ小政でありましたとさ

天氣と氣溫

明日の天氣　南西の風晴一時曇
日の出　午前六時四十九分
日の入　午後四時　四分
月の出　午前八時五十四分
月の入　午後五時　四十分
けふの氣溫　最高零下四度七　最低零下十八度一

(新映畫紹介) 東京の宿 (蒲田映畫)

―小津安二郎作品―

原作……池田忠雄
脚色……荒田正男
監督……小津安二郎
撮影……茂原英朗

(梗概)―失業職工の喜八は善公と正公の二人の子供を連れて當途もなく街を歩く。ルンペン!ルンペン! ひもじい腹を抱えて街をほつつき歩いても職はない。徒に工場の門番に斷られるだけだつた。そ氣にかゝるは子供の腹。その日も暮れゝば此の三人は木賃宿に疲れた身體を運ぶのであつた、何か食べなければならない、善公と正公とは一策を案じた、野犬を捕へて二拾錢貰ふ事だ。犬は足の早い動物、之は容易な事ではない。或日運よく犬を捕へた。

喜八	坂本武
善公	突貫小僧
正公	藤松孝行
おたか	岡田嘉子
君子	小島和子
おつね	飯田蝶子

善公と正公は併し、善公は親父の喜八との約束―犬の金でめしを食はふ―を忘れて子供心に昨夜心惹かれた軍帽を買つちまふ、待つてゐた喜八はがつかりして了つたが叱るわけにもいかない、空き腹を抱えてとぼ〳〵と歩む後から之も小さな女の子君子を連れて元氣なく歩いてきたのがやつれた姿のおたかであつた。その夜喜八は木賃宿で、又おたかの姿を見出し、さつき見た女だと思つたが腹のへつてゐる今はそんな事はどちらでもよかつた、子供は無邪氣なもので正公と君子とは直ぐベツカンコの應酬をしてゐた、喜八は子供と何時も晝間の暇を潰す原つぱにやつて來て、現實では不可能の酒のみごつこ親子丼を食べる眞似に、あじきない幻影を描くのであつた其處へ又通りかゝつたのがお君をつれたおたか。喜八とおたかとは話をした。

おたかも子供を連れて仕事を搜してゐる哀れな境遇であつた、子供同志は一層仲良く戯れるのであつた、喜八親子はとあるめし屋へ入つた、めしを食つてしまふと今晩木賃宿へ泊れないのであるが、今はそれも言つてゐられない、牛丼に舌づゝみを打つて、さてその末が今夜のねぐらに困つた、雨も降つて來た、思案にくれた喜八はふと床屋から出て來るおつねを見た、おつねも喜八に氣がついて二人は思ひがけない邂逅に久濶に同情し一先づ我が家の一膳めしやに誘つた、喜八はおつねの世話で或る工場に通ふ身となり、細々ながらも狹い借家に親子三人水入らずの樂しい生活を營むやうになつた。辨當は飯屋のおつねに作つて貰ふ、それを持つて工場へ通ふ途中、彼はいつもの原つぱで相變らずのおたかのうらぶれた姿を見た、腹のすいてゐるらしい君子の顏を見て二人を飯屋に連れ戻つた、おつねは女の微妙な感情から此の二人を快く思はなかつた、喜八は毎日日課のやうに、おたかに原つぱで會つた、喜八の心は段々おたかに惹かれて行つた、おたかのため財布の底を叩いて半襟を買つた喜八は、然しその日から見えないおたかの姿を毎日待ち佗びた、同じ思ひは君子と仲良くなつた善公、正公にもあつた。

おたか親子は? 木賃宿萬盛館の一隅に、君子は疫痢に罹つて喘いでゐた、事情を知らぬ喜八は焦燥から、宙に浮いた半襟を持つてあいまいな飲み屋で、白粉をつけた女を相手に自棄酒をあほつた、些か醉つた眼の前に思ひがけなくおたかの姿! 醉眼の間違ひではないかと驚いた喜八は凝つと見直したが、まぎれもなきおたかの白粉をつけた姿、變つたおたかの墮落を詰り、信じてゐた者から裏切られた憤怒から半襟をひきさいた、おたかは泣いた君子の入院費用を作る爲に身を落さなければならなくなつた事情を打明けた、喜八の胸はつまつた

併し、此の女を此んな場所に置いとくわけにはいかない喜八はどうあらうとも此の女を汚れた場所から救ひ出さなければならないと決心した、おつねの所へ金を借りに行つたが斷られた、今の喜八には、どうしてそんな金が出來ようか! 彼は遂に盜みなした、巡査の眼を逃れて目的の金を善公におたかの許へ屆けさした喜八は、もう思ひ殘す事はなかつた。おつねの門を再び叩いた喜八が、子供達の事をおつねに賴んで警察へ自首する足どりは重かつた。(二十八日より長春座上映)

「私のあなた」

新興映畫、曾根千晴の監督する小品で、伏見信子、立松晃が主演する、新興のこの種映畫も亦他の社と違つた好みがあつて樂しめるものがある、これは映畫が唄を追つかけた場合の一例、目下公會堂上映中　スチールは立松晃と若葉馨

P・C・L次期の十大作決定

既報P・C・L映畫製作所では東西營業會議の席上森支配人より次期(昭和十一年三月迄)製作新映畫のスケヂユールの發表があつたが愈々左の如く發表の運びとなり何れも超特作映畫としての貫錄と明朗P・C・Lの面目を躍如たらしむる大作を網羅してゐることは注目に價する尙P・C・L・正月提供の大作『エノケン十八番どんぐり頓兵衞』並びに今回提携成立せる吉本興業との第一回作品エンタツ、アチャコ主演映畫を第三週封切と豫定されてゐる

△『女軍突擊隊』木村莊十二監督作品、堤眞佐子主演
△『噂の娘』成瀨巳喜男監督作品、千葉早智子主演
△『エノケン十八番どんぐり頓兵衞』山本嘉次郎監督作品、榎本健一、高尾光子主演
△『われらが英雄』(假題)吉本興業P・C・L提携作品岡田敬、伏水修共同監督、横山エンタツ、花菱アチャコ、徳川夢聲、堤眞佐子主演
△『求婚三銃士』矢倉茂雄監督、佐々木邦原作、千葉早智子、神田千鶴子、大川平八郎、宇留木浩、伊達里子英百合子共演
△『桃中軒雲右衛門』成瀨巳喜男監督作品、眞山青果氏原作、月形龍之介、細川ちか子、千葉早智子主演
△『我輩は猫である』山本嘉次郎監督、夏目漱石原作、德川夢聲、宇留木浩、丸山定夫、藤原釜足、細川ちか子主演
△『唄ふ彌次喜多』古川綠波原作主演、岡田敬、伏水修共同監督
△『處女花園』菊池寛氏原作　竹久千惠子、千葉早智子主演
△『花のワルツ』成瀨巳喜男監督、川端康成氏原作、堤眞佐子、梅園龍子主演

撮影所だより

▲「傷だらけのお秋」クランクを終る　今シーズン映畫界の異色篇として一異彩を放つてゐる新興東京の特作發聲版「傷だらけのお秋」は勝浦仙太郎監督の鋭利なる良心的メガホンに依つて「本牧物」決定版として、盛んなる待望裡にこの程撮影開始以來一ヶ月余に亘るクランクを終了

▲岡田敬監督P、C、Lへ入社　古くは日活にあつて片岡千惠藏主演『風雲天摩城』等の快作を監督し先頃まで大都映畫にゐた岡田敬氏は今回大都と圓滿了解のもとにP、C、Lに入社第一回はエンタツ、アチャコ主演假題『われらが英雄』を監督する

雜音

新京キネマの「麥の秋」は期待をそゝるものがある、開館二周年記念興行としてかなり擴くファン層を吸集するに相違あるまいが、かう言ふ映畫は出來るだけ多くのファンに親しまれることが大切である、常設館自身のファンに對する心構へが絕對に必要である▲長春座でも「流線型超特急」に次いでクローデット・コルベールの「輝ける百合」がかゝる、仲々の勉强振りである▲洋畫ばかりをやいく〳〵言つてゐるやうだが、何時の間にかこんな情勢になつて了つたのだから、日本映畫の不振さ加減も程度を越えるものがある、そして言ひ合したやうに各館とも洋畫プロの編成には案外良心的な目を働かしてゐるのだから嬉しくもあり不思議な氣もする▲いよ〳〵寒くなつて映畫に喰ひつく人が多くなつた、館內の溫度に一層氣を配つて欲しい

今日の演藝街

△新京キネマ―二十八日までリリアン・ハーヴエイ、ウイリイ・フヰリッチ、コンラット・ファイトの「會議は踊る」ハンス・アルバースの「F・P一號應答なし」
△長春座―二十七日まで、フレッド・アーステーア、ジンジャー・ロジャース、アイリン・ダンの「ロバータ」藤井貢の「大學の若旦那太平樂」林長二郎の「石井常右衛門」
△公會堂―二十七日まで、ビング・クロスビイの「虹の都へ」伏見信子、立松晃の「私のあなた」片岡千惠藏市川春代の「氣まぐれ冠者」

居住消息

▲大出政市氏(廣島縣)曙町四丁目十一番地へ
▲有滿太吉氏(鹿兒島縣)奉天から千鳥町一丁目三番地へ
▲藤永一二三氏(長崎縣)錦町二丁目七番地へ

轉居

▲的野恭夫氏　吉野町から千鳥町陸軍官舍合同宿舍一號へ
▲今村仁氏　日本橋通りから室町二丁目五番地へ
▲土橋貞敏氏　錦町から山吹町二丁目二十三番地三號へ
▲滿留正雄氏　室町から菊水町四丁目六號ノ四へ
▲樋田董氏　中央通りから常盤町二丁目十五號ノ一へ
▲堀次郎氏　羽衣町から入船町三丁目十五番地へ
▲中元寺健吾氏　東一條通りから同上へ
▲八幡悅次氏　曙町から同治街政府第二代用官舍六十五號へ
▲若園義郎氏　千早町から興亞街百一號ノ四へ

出生

▲宮垣秀夫氏(花園町二丁目五番地二十一號)次女惠子さん十三日出生
▲福田政晴氏(老松町二十二番地)長男晴年さん十九日出生
▲小川兼信氏(白菊町二丁目三番地六)女京子さん十六日出生

十一月廿八日　木曜　戊申　先勝　收　奎宿

●一白の人　他に心を轉ずることなく本業を守るが安全　壬と子と癸が吉
●二黑の人　旺勢なる運氣を辿り諸事達成し利益亦多し　乙と丁と辛が吉
●三碧の人　手を延ばし過ぎて足元は疎かとなり易すし　丁と庚と辛が吉
●四綠の人　峻險を樂るか如き日疲勞のみ加はり望無し　辰と辛と庚が吉
●五黄の人　間隙を生じて不利其れより起らんとする日　甲と午と丁が吉
●六白の人　思案のみに耽りて手遲れとなり後悔する日　乙と辰と丁が吉
●七赤の人　自己の本分とする所に努むれば安全を保つ　辰と巽と丑が吉
●八白の人　福祿は熱心と精勵とに依り出現し來る吉日　乙と丙と午が吉
●九紫の人　眞一文字に本道を進まるれば目的地に達す　甲と乙と未が吉

防空獻金現況報告

新京居留民會取扱

(單位圓)一〇、〇〇ブリキ商會新京出張所、六〇〇、〇〇松本組新京出張所、四、八〇〇卷柄ナミ、二、〇〇安部勇治、四〇〇、〇〇尾崎安松、二〇、〇〇橋本政木、八、〇〇壽商會、五九、〇〇草場組支店組員一同、三〇、〇〇天理敎滿洲傳道廳、二、〇〇田中源平、一〇、〇〇西山藤兵衞、三〇、〇〇杉山民造、四〇、〇〇江頭卯三、一〇、〇〇萩原官六、二、〇〇本田譽秋、五、〇〇雄松高治、一〇〇林田末治、五、〇〇西原淺次郎、二、〇〇河野然、一〇、〇〇文祥堂支店、五、〇〇片山シゲ、六、〇〇吉本順吉、五、〇〇杉原家久、二、〇〇花田忠雄、五、〇〇野口弘、三、〇〇安藤彌七、五、〇〇中島久吉、一〇、〇〇平田順造、五、〇〇佐藤眞記、二、〇〇瀨尾直多、五、〇〇中村武志、六、〇〇奉天洋行出張所、九一、四〇〇國防婦人會南嶺分會、一、〇〇武石鑑壽、五、〇〇德永孟、一、〇〇大隈寅雄、二、〇〇小川正、一〇〇、〇〇京城土木會社新京出張所、六、〇〇片田金次、一〇〇、〇〇高橋管藏、五、一〇花川弘、一〇、〇〇櫛田要輔、五、〇〇三澤忠八郎、合計一六四、五三〇

爲替銀行に看板替え
滿洲名物 錢舗の行方
―大多數は廢業轉業へ―

滿洲國成立前には全滿各地に大洋票や官帖等が流通して複雜を極め紙幣の亂發による相場の亂高下や特產買付に要する地方通貨の兩替が繁忙を極めた時代には錢莊、錢舗は必要缺く可らざるものであり、相當の巨利を占めることを得たが、建國後幣制の統一を見本年九月頃より國幣金票がパーとなり更に日滿兩國通貨統制の協定が成り兩國政府が等價維持を聲明するに至つて完全に錢莊存在の意味が無くなつた新京に於る錢莊の現況は斯る情勢に直面して何等か方向を轉換せざるを得なくなり客の注文に應じ錢糧定期取引の仲買業務を始めたものもあつたが近來特產相場の高低甚しく客の損失多大と共に其餘沫を浴びて錢商も相當の痛手を蒙り業態甚だ不振のものが多い、資本豐富なものは單獨で資本の中位なものは二三店合併して滿洲國銀行法に從ひ爲替銀行として看板の塗替を行つたものも相當あるが小資本のものは廢業の已むなきに至つてゐる、彼等は國策に順應して不平の聲を洩すものもないが却て邦人側に兩國政府の聲明を見たる今日自己營業の永續を望み無駄な要望を重ねてゐるものがあり國策として決定を見た以上心氣一轉すべき秋である尙軍部滿鐵等が率先して國幣の受拂を決行してゐる今日大會社、銀行其他の機關で今猶國幣の受入を肯ぜざる向もあるが是等も國策に順じて速かに改訂すべきであるとゝ各方面から要望の聲が高い

阜新大炭田の露天掘起工式
去る二十三日盛大に擧行

滿洲炭礦會社が鋭意その開發準備を進めてゐた阜新縣孫家灣炭礦の露天掘發掘に必要なる一切はなつて去る廿三日盛大に起工式をあげた因に同坑は撫順炭田に優る埋藏量を有し運炭課の建設胡蘆島の築港と相俟つて將來は滿洲炭の海外移出の主要部を占めるに至るべく第一年度の出炭は三十萬トンが豫想されてゐる

滿洲土建界の下向に 北支進出を畫策
協會では天津に出張所を開設

滿洲土建界の建設景氣も昨年を峠として漸く下向期に入り早くも土建業者の凋落が傳へられるに至つたが當業者間にはこれが打開策として北支進出を企圖し着々具體的計畫が進められてゐる、即ち滿洲土建協會では最近の北支經濟提携機運の勃興、北支產業開發の具體化等に注目しさきに加藤副會長月余に亘り北支視察を行ひ榊谷會長と同地方事情の調査に赴きこの程歸還した結果近く天津に出張所を新設に決定し目下諸準備を急いでゐるが、之と共に在滿の三百數十名に上る土建業者間でも個別的に現地調査を計畫する者多數あり、近く榊谷會長から視察報告を聽取の上明春の工事に備へて出來れば年内に諸準備完了を期してゐる向きも多數あり、今後の推移は注目に値する

住友鋼管工場竣成 機械運轉順調
―來月五日落成内祝擧行―

滿洲住友鋼管會社の工場は全く竣工して過般來諸機械を運轉し徐々に製品の產出をみて居るが作業成績は至極順調にて目下立山に建設中の電業公司の工場變電所が竣工しその配電を受けるやうになつたら全能力を擧げて製產に邁進する、同社では來月五日の吉日をトして工場竣成のお祓式を擧げ内祝の儀をあげる豫定

朝鮮林檎の宣傳卽賣會
朝鮮產林檎の滿洲進出奬勵

を目し朝鮮貿易協會及鎭南浦產業組合では廿五日より廿七日迄公會堂にて鎭南浦特產林檎（年產額約四百萬貫、一貫五十錢として約二百萬圓）の宣傳卽賣會を行つてゐるが本年は從來の『紅玉』を廢し耐久力に富み特に朝鮮に於てのみ優良な『國光』を五十貨車三萬六千箱を輸入し盛に宣傳してゐる

大阪商議會頭の斡旋で 自動車ゼネスト解決

【大阪國通】自動車ゼネスト斷行の報に接した大阪商工會議所會頭森平兵衞氏は廿六日朝急遽東京より歸還直ちに會議所に川上反對同盟會長を招致、白紙一任の妥協案を提示したので川上會長は午後一時から統制本部に緊急協議會を開き協議の結果大阪商工會議所の善處に信賴し罷業を打切る事に決定午後二時を期し一齊休車解除の指令を發した斯くて我國未曾有の陸上ゼネストも午前六時休車斷行以來僅か八時間にして呆氣なく幕を閉ぢるに至つた

滿洲經濟夜話 (40)
中央への統一を策した 支那諸鐵道と借款
孫文氏の大計畫如何

支那の鐵道については、その大部分のものが、建設の當初より諸外國の政治的乃至經濟的勢力をバツクに有し來つてゐる事實を注意する必要がある、その錯雜した關係は支那に特有な、他國に類例を見得ぬところのものである。

×　×

國民政府は民國十七年（昭和三年）從來の鐵道部を交通部から分離させ、同二十一年に中華民國鐵道法を發布して國營（中央所管）公營（地方所管）及び民營の原則を確立した、しかし、なほ殆んど凡ての鐵路は依然として外國借款の羈絆から脫してゐない狀態である、現在鐵道關係の外債未拂額は元利合せて約十二億に達すると言はれてゐる、そして支那の國權回收運動が旺盛となつて以來、全然と言つていい位ゐに債務償還は履行されてゐないのである、孫文のいはゆる「中山計畫」といふのによると、三十年間に十萬マイルの鐵道網を敷設する計畫なのだが、どれだけにこのプログラムが今後進められるかは、最近の情勢では、華北は別として、支那本部一般についてはかなりに疑問の存するところであらう。

×　×

北支の諸鐵道ははじめ北京政府の管轄下にあつたが、前記十七年の統一を經て、南京政府の所管となつたものであつた。この統一は、外國資本によつて各々別個に建設されてゐる、系統のない鐵道を國鐵體系の下に組織化しようとしたもので、運賃、聯絡、直通等に關してはかなりの苦心が拂はれてゐる、南京政府は又、債務整理委員會を設け「國鐵收入若くは剩餘は鐵道事業の擴張及び整理に當つるものを除き先づ債務整理に充つ」と規定し、借款整理へと進まうとはしてゐるのである。

本月中旬の驛到着貨物

十一月十日より廿日迄の新京驛到着貨物の主なるものにつき商工會議所は左の如く發表した（單位噸）

品目	噸
穀物及種子	一、一二四
野菜及果實	二、一一九
食料品	八二三
海產物	一四七
酒類	一〇五
飲料水	二〇
茶及煙草	一二六
建築材料	二、〇八五
綿類	四二二
石炭	一、〇五八
麻袋	二九六

日銀週報

【東京國通】

項目	金額
發行兌換券	一、二二九、九四九
正貨準備	四九八、二五七
保證内譯	
公債	二三五、二九一
政府證券	一〇三、五七二
證券	一八二、二一八
手形	二一〇、六一〇

土建ニュース

決定工事

●滿鐵地方事務所

▲吉林東洋醫院事務室擴張其他工事　單獨　百九十七圓六十九錢　大同組

▲新京醫院渡廊下增築工事　單獨　三千七十一圓　柴田組

●滿鐵新京保線區

▲新京大和ホテル冷藏裝置器械室床新設其他工事　單獨　百二十五圓　辻吉太郎

▲新京驛構内枠東方詰所、水道新設工事　單獨　百三十八圓七十一錢　市瀨良胤

▲新京大和ホテルグリルーム料理場一部模樣替工事　單獨　二百五圓　辻吉太郎

長春

われわれはあまり目さきの算盤勘定だけに囚はれないことが肝心であらう▲先般、新京でも開催された例の東洋工業會議、滯りなく全てのプログラムを終へて歸國したとある、その綜合的評價は相當高く買はれてゐるらしい、むろん事は將來にかかることで、それは主として支那側が、會議の正當な目的によく協調するであらうか否かにかかつてゐると言へるであらう▲昭和製鋼所の鋼材賦延開始とともに滿洲國の輸出關稅が撤廢されることになる、滿洲國としては國際收支のバランスを取るための政策として行ふのである、之に對しては日本内地の業者些か苦い顏らしいが、そこが日滿ブロック經濟の實現場また後より來る幼い者を助ける良い態度を要請されてゐる場合でもあらう▲東京では商工會議所の總會に日滿實業協會の總會と、對滿意識が濃厚である▲「マスクして瞼の凍る頃となり」

商況欄（十一月廿七日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二九片一六分三
同　先限	二八片四分三
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六四留比四分三
米英爲替	四弗[illegible]仙四分三
米日爲替	二八弗八二仙
米支爲替	三〇弗〇〇〇
スチール	四七弗八分七
アナゴンダ	二四弗四分三
英日爲替	一志一片[illegible]
英支爲替	‖
印日爲替	七七留比四分一

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙二五
十二月限	一一仙八二
一月限	一一仙七三
三月限	一一仙六四
五月限	一一仙五〇
七月限	一一仙四三

爲替相場

▲十二月十三日限　寄　一一〇、〇〇　引　一〇九、九〇　出來高　三万八千

●哈爾濱國幣金票　現物　一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇

●安東國幣金票　現物　一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇

▲上海爲替　▲日本向　第一回　賣　一〇四、〇〇　買　一〇四、五〇

金銀市況

●上海標金　昨引　二四八、九〇　本寄　二四七、七〇　歩　四七、〇〇

誰が殺したか
國枝史郎氏ほか二　龍造寺瞻畫

第三の殺人　一四

『アンナかい。まだ寢ないの』聲を掛て見たが返事がなかつた。馬鹿々々しい、自分も早く風呂からあがつて、ベッドにもぐり込みたい。いまはたゞ、子供のやうな欲望ばかりだつた。

セキ子が全裸の美しい肉體を、波々とした浴槽に埋めて四肢の先から、溜つてゐた疲勞が、少しづつ湯の中に溶け行く快感を感じてゐると又も、何處かでコトコトと音がした。

『まあ何であたしは神經質なんだらう』

頭を打ち振つて、聲にまで出して彼女は呟いた。浴室に誰か人がゐるとすれば、アンナに決つてゐる。アンナがまだ寢ずに、彼女を待つてゐたにしたところで、少しも差支へないことだ。

だが、突然セキ子の眼の前にアンナならぬ一個の人物が、彼女の聲を裏切るかの如く、影のやうに現はれた時には、聲さへ立て得ずにたゞ双の眼を見張るばかりだつた。きちんとした夜會服を着込んだ、エナメル靴の先を光らせ、年の頃三十を半ば過ぎたかと思へる日本の紳士である。彼は靜かに微笑して見せると、唇に指をあてがつて、聲を立てぬやうに合圖をした。だがそれは、セキ子が當然聲を立てることができない事を知つての行爲としか思へなかつた。

浴槽の縁に投げだしたセキ子の兩腕は、何時の間にか乳を隱してゐた。彼女はまだ處女である。かういふ場合に直面しようとは、且つ夢にも思つてゐなかつたから、さうすることさへ臆な本能の力だつた。眼の前にゐるのが、夜會服の紳士であらうと、たゞの猫一匹であらうと、驚きの感情だけは同じだつたに違ひない。

一夜會服の男は、恐怖のために青白くなつたセキ子の肉體を、しげしげと眺めながら、感に堪へたもののやうに、

『お孃さん美しい身體をお持ちですね』と、呟くやうに云つた。低いがよく透るバスである。

『誰です、あなたは？　出て行つて下さいまし』

やつと、之だけの言葉を、許しを受けたものゝ樣にセキ子は云ふ事ができた。彼女の眼は、そろそろと壁を這つて、呼鈴を探した。

『おつと、それはいけませんよ。考へて御覽なさい。天下のソプラニスト、秋山セキ子孃が、浴室に男を引張りこんだといふ事を、自分から知らせるのは、宣傳としても上々とは云へますまい。――靜かにしてさへ居れば、格別大したことはないのです』

男は一語一語を噛んで含めるやうに云ひ放つた。

『あなたは、泥棒ですか？　お金なら……居間にあります。持つてつて下さい。』

『いや、ははは、お金などは欲しくもないのですが……ほら、ちよいと指を拜見。これは素晴らしいダイヤですな』

壁に伸びたセキ子の指に輝くダイヤに眼をつけて、男は手を差出した。意外にも白い上品な手であつた。

『なにをなさるんです』

手を引いた途端に、水がはねて男の上衣に少し許り飛沫が散つた。

『これはこれは』

ゆつくりと、ハンカチを取出して飛沫を拭ひとつたが、セキ子が少しづつ落着きを取戻して、生命にかけても人を呼ばうとするやうな氣色を見せたのを見て取ると、何思つたか、衣嚢の中から西洋剃刀を摑み出して、柄の中の刃を掌でヘラリヘラリと磨ぎはじめた。

（この篇水谷準作）

〔大正九年十二月十四日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三一二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

帝國外交の全重心を 有吉、蔣會談に集中

親日具體方策徹底追及を 廣田外相から重要訓電

【東京國通】廣田外相は去る廿日南京に於る有吉、蔣介石兩氏會見の結果に基き南京政府が我對支三原則を承認したる以上、之が具體的方策を開陳すべしとの根本態度を決定し、廿七日有吉大使に重要訓電を發し再度南京に赴き蔣介石氏に對し南京政府の親日具體方策を徹底的追及せしむる手筈を採つた尙我方としては飽く迄も廣田、蔣作賓會談の繼續としての有吉、蔣介石會談を重視し本筋の外交々涉により日支兩國々交關係の調整に當るべしとの根本態度の下に

一、王正廷氏の來朝、何應欽氏の北上等を輕視し

一、傳へられるが如き北支解決辦法の行使は南京政府の北支に對する認識の不足を公表せるのみであり、北支事態の調整には百害あつて一利なきもの

との見解を示して帝國外交の全重心を南京に於て近く開かれるべき有吉、蔣介石會談に集中しつゝある

民衆の動向を認識 善處策を講ぜよ

南京政府の對北支處置に 我陸軍當局の態度

【東京國通】國民政府は廿六日の行政院會議に於て北支時局解決辦法を決定、北支を特別地域とし軍政部長何應欽氏を派遣廣範圍の權限を附與、時局拾收に當らしめる事になつたと傳へられてゐるが右に關し軍部方面では未だ何等の報告なく意見開陳の時機でないと愼重な態度を以て事態を靜觀してゐるが軍部の意向は大要次の如きものと諒解される

一、北支の重要新事態に就ては有吉、蔣介石兩氏會見に於て同大使より蔣介石氏に嚴重警告を爲した如く、南京政府が北支新事態に對する誤まれる認識を一掃し適切妥當な解決手段に出でんことを重ねて注意を喚起せざるを得ない

一、即ち現實の事態を正確に認識し民衆の動向を察知しその要望に副ひ以て北支民衆を困窮狀態から救濟し治安を平靜に歸せしめる樣善處すべきだ

一、然るに南京政府が今次決定したといふ時局解決辦法なるものは徒らに民衆より排斥され來つた舊來の搾取機關に代ふるに異なる外貌を備へる新機關を以てしたに過ぎない

一、南京政府が徒らに斯くの如き日和見主義を持續し不徹底なる方法を以て事態の紛糾を彌縫せんとするならば事態は一層紛糾惡化し北支と密接なる關係を有する我方として默過し得るところでない

看板をあげた冀東防共自治委員會（通州にて金久保特派員撮影）

自治政權の樹立近き 北支那を語る

天津にて 金久保特派員

苛税と軍閥の搾取と不斷の兵災、洪水、旱魃のため貧窮のどん底にしんぎんしてゐる北支九千萬農民の慘狀は凡そ人間が堪え得る最惡の狀態である、だから彼等が望むものは現狀の破壞であつた、彼等が現狀を打破した後に來るべき社會は今よりより良き社會であるか最も惡い場合でも今と同じ樣な不幸な社會である、河北省香河事件を導火線として全北支に鋒火を擧げた民衆の自治運動が國民政府の彈壓に抗して根强く鬪はれて來た原因はこゝにあつた、而も彼等の興望は漸く報ひられ近く河北、チャハル兩省を結合した華北自治政府が樹立されることゝなつた、當初においては河北、チャハル、山東、山西、綏遠の所謂北支五省を打つて一丸とする華北聯省自治政府の結成が期待されてゐたが各省の中央に對する政治的關係の相違によつて五省聯省自治實現は將來に殘されるものとみられるが、各省民衆は盡く國民政府からの離脫を要望してゐるのであるから「北支人の北支」による明朗北支が建設される日も遠くあるまい、日滿支經濟提携の舞台としての北支とは一體何んな所か、主として經濟を中心に北支五省の槪要を語らう

一、人口と面積

五省合計の面積は百一萬九千平方粁で支那本部十八省の約四分の一、日本內地の約三倍で滿洲國全體よりも約十八萬平方粁狹い、人口は約八千九百四十五萬で大部分は山東、河北、山西の三省內に居住してゐる、殊に山東、河北兩省は人口の密度が日本內地よりも遙に高く既に人口問題に惱されてゐる狀態である、年々百萬近くの苦力（山東、河北）が北支から滿洲國に出稼ぎにゆくことが思ひ當る譯である、然しチャハル、綏遠兩省は人口極めて疎で人煙稀なる土地が大部分を占めてゐる、住民の九割は農民でチャハル、綏遠の狩獵牧畜を除けば粗放農業を營んでゐる點は滿洲國と良く似てゐる

二、農業狀態

北支農業の特色は水田が極めて少く畑地が大半をなしてゐることである、從つて米などは北支だけの需要を滿すことが出來ず他から移入してゐる位で、主要農作物は小麥、高粱、粟、甘薯の樣な食用雜貨類で副業として鷄や豚を飼養してゐる、農業形態は零細農制で日本農業と似てゐる點が多く多分に封建的である何れの社會でも上層階級に下層階級の差はあるが支那位その差の甚だしい國はない、支那には中層階級がないといはれる程貧民階級と富裕階級が劃然と區別されてゐるが、北支でも同樣である、北支農民をして自治建設へ蹶起せしめた貧窮の原因は何處にあるかといへば前述したやうに軍閥苛斂誅求と天災が一原因をなしてゐるが、極端に高い小作料が大きな原因となつてゐることを忘れてはならない、小作料は金納、物納兩制度で地主、小作人の關係は全く封建的で小作料は平均五割乃至六割を占めてゐる、地主は大抵地主であると同時に商業資本家兼高利貸資本家で農業恐慌で痛めつけられた農民大衆はこの地主と軍閥のために餓死線にまで追ひやられてしまつてゐる

三、棉花の開發

北支における棉花は主要農產物の一つで最近殊に植棉が盛んとなり「日支棉花提携」の重要性が叫ばれてゐる、即ち日本紡績業は北支原棉を輸入し、北支の棉花栽培を奬勵することによつて北支の農村を更生せしめ購買力を增加することが出來る而して北支における購買力の增大は日滿兩國の對支貿易を活潑ならしめ殊に原棉を生產し得ない日本にとつては國防上の重大意義を持つのである支那は米國、印度に次ぐ世界第三の棉產國で河北、山東、山西三省の昨年度の棉作反別は約九千萬畝（日本畝）產額は約四百八十萬ピクルに達してゐる、之を支那全體の棉產額に比較すれば約四三パーセントを占めてゐるから如何に北支（殊に河北、山東）の棉花栽培が重要視されるかが看取される、北支の棉花栽培は過去四年間に五、六割の增加をなして居り資本と技術をもつてすればその發展は容易で地質氣候等も非常に棉作に適してゐるのであつて棉花による日支提携が期待される所以である

四、石炭、鐵、羊毛

石炭は全支約二千六百億噸の埋藏量のうち半分の約千三百億噸は山西、河北、山東三省にあるといはれてゐる、餘は河北、山東、山西、チャハルの四省だけで約七千六百萬噸の埋藏量が推定され、羊頭數は河北、山西、山東三省合計が約三百六十萬頭、羊毛商約五萬五千ピクルで、チャハル、綏遠[illegible]省だけでもなく前記三省と[illegible]な羊毛商を有してゐる、鐵、石炭、羊毛が國防資源として重要な意味を持つことは論ずるまでもなく我々が多大な關心を有するところである

五、日滿支經濟關係

日滿支經濟關係は北支を舞台として三者の提携が實現されなくてはならない、即ち日本からは滿洲、支那に對して資本と技術を與へ滿洲は北支の資源開發の指導をなし滿洲、北支民衆の購買力を增大せしめこれに對し日本の商品を輸出、滿洲からは日本、支那に農產物を、北支からは日本に對し棉花、鐵、滿洲へは北支の勞働力を供給することにより北支を中心とする日滿支經濟ブロックが出來上るのであるかくの如き日滿、北支の相互的依存關係の成立は相互の有無を相通し、發展を助成し合ふ根本的方針に基くものであつて如何なる政治的障害をも排除しなければならない、來る北支自治政權の樹立が日滿支經濟提携の上に多大な寄與を期待されてゐるのは以上の如き理由によるものである

六、自治運動の將來性

北支自治政權の樹立は必至である、天津にゐる記者は目前にその動きを感じてゐる、某要人は一週間後には確立されるだらうと記者に斷言した、何れにせよ時期の問題である、これは絕對的だ、現在のところでは北支の實力者平津衞戍司令宋哲元氏を中心に蕭チャハル省主席、秦北平、程天津兩特別市長等の要人によつて河北、チャハル兩省と北平、天津兩特別市を結合した華北自治政府が實現されるであらう、河北省主席商震氏の參加は確定的でないが恐らく合流するものとみられてゐる、さて實現した自治政府はどうなるかが問題であるが、結局形式的には國民政府の主權下にあつて財政、軍事、外交各方面にわたり蔣政權から實質的に離脫して政治的には日本の實力を確認し經濟的には日滿支經濟ブロックによる北支の更生と民衆の福祉增進に王道的第一步を踏み出すことになる、棉花の栽培、鑛山の開發、交通機關の整備が日本の資本と日本人の頭腦と科學的技術で進められ、やがて滿洲國と共に王道北支が實現するであらう（一一・二四）

平津兩地駐屯の 商震軍撤退

【北平廿七日發國通】北平南苑及び天津に駐屯してゐた商震軍は保定滄州の線以內に引上げる事となり續々移動を開始した、此等の行動は同氏が天津沽保安司令より退いた今日當然であるが未だ何れとも決せざる氏の態度と關聯して多大の注目を引いてゐる

何應欽の北上には 武力以ても阻止

宋哲元氏南京に通告

【北平廿七日發國通】宋哲元氏は昨夜の將領會議の決定に基き廿七日朝南京政府に對し左の如く通電したが之は南京政府に對する正面からの反對的態度を表明せるもので既に自治確立の第一發の矢は確實に弓を離れた

一、冀察綏靖主任任命は拒否する

二、何應欽の北上に反對、武力を以ても斷乎阻止する

南京政府監察院が 殷氏懲罰を要求

【南京廿七日發國通】廿六日開催された監察院會議に於て殷汝耕問題を討議した結果、國家への背反と認め之が緊急處置を取る樣國民政府に要求する旨決議した

通州の宋哲元軍 南苑に撤退

【北平廿七日發國通】二十四日通州に入つた宋哲元第二十九軍三十師趙登禹部隊の撤退に關しては其後冀東委員會と宋氏間に折衝中であつたが解決なり廿八日小部隊を殘して南苑に撤退することとなつた

華北共產黨員 暗躍す

【天津廿七日發國通】華北各省に游游として起つた農商民の自治運動を利用し華北に潜める共產黨の活動が頓に表面化しつゝあり一味は早くも廿六日天津租界の移動本部に緊急會議を召集し

一、天津市の攪亂、赤化を即時斷行す

一、市民に抗日運動を普遍ならしめる

一、失業者を吸收して下層自治自衞軍を組織し擾亂の活動部隊とす

等を決議したが自治民衆運動と共產黨員の活動とが入り亂れ益々紛糾狀態を釀し何時如何なる事態が突發するやもはかられず、今後の成行は極めて重要視されてゐる

"華北徵稅權接收には 斷乎、拒絕せよ"

南京政府が現地機關に電命

【南京廿七日發國通】河北、山西、察哈爾、綏遠區統稅局唐山分區統稅管理所主任より廿六日國民政府財政部に對し殷汝耕が殷大新を該所に派遣し稅關、稅捐局等の徵稅權の接收を要求し來つたが如何にすべきかとの電請があつたので財政部は直ちに該主任に對し斷然之を拒絕し從來通り行へと電命した

河北省政府 命令を承認決議

【天津廿七日發國通】河北省政府は廿六日の常例會議に於て中央より電命せる殷汝耕氏の免職逮捕令を承認決議し管下に命令を出す事となつた、之に對し戰區各縣代表は河北省政府の處理に不滿を抱き對立的氣勢をあげて居る

宋哲元氏昨朝 自治派有力者と密議

【北平廿七日發國通】宋哲元氏は本日午前十一時某所に於て最大の自治派有力者某氏と會見密議に入り華北愈々動くの感が濃厚となつて來た

各大學教授に 時局を說明

【北平廿七日發國通】宋哲元氏は昨日午後自邸に蔣夢麟、胡適氏等各大學教授を十餘名招致、北支時局に關する說明を爲し謠言に惑はされることなきやう學生に傳達せられ度しと懇請し、一同はこれを諒として引揚げた

松井大將上海着

【上海廿七日發國通】支那巡遊中の松井大將は本日午後四時當地入港の奉天丸で青島より來滬した、埠頭には磯谷武官、佐藤武官等の出迎へがあつた

非難昂まる

商氏の曖昧態度に

【北平廿七日發國通】商震氏はまだ宋哲元氏の來平懇請電に對し何等回答を發せず、病馬しと稱して保定を動かない、此曖昧なる態度に對して自治民衆の間には早くも「彼を華北より放逐せよ」との聲が漸次昂まつて來た

爲替管理法可決

廿七日午後二時より國務院會議室に於て臨時國務院會議開催、待望の爲替管理法を上程之を可決した、尙同法は廿九日參議府會議開催、上程の上豫定の如く卅日公布される筈である

人事往來

▲染谷保藏氏（本社代表）本日來京ヤマトホテル投宿

滿洲往來

▲小川愛吉氏（福岡會社員）二十七日午前ハルビンへ
▲呂榮寰氏（民政部大臣）同午前ハルビンより
▲川原次郎氏（新京請負業）同午後奉天より
▲栗林德三氏（ハルビン同）ハルビンより
▲如生竹雄氏（電業公司）同チヽハルより

閑語

北支の自治運動に狼狽した南京政府が、遂に殷汝耕氏の免職逮捕令を出したなどは、蔣さんの血迷ひ振り察するに余りあり▼蔣さんにして見れば自治運動が成功する、幣制改革がオジヤンになる、とあれば結局身のつまり、武力彈壓とでも出るよりほかないにしても、それで北支がうまく治まれば天下は極めて泰平だ▼この時北上した例のリースロス君相變らず策動をつゞけてゐるのは苦々しい限りで、このリットン卿以上に血のめぐりの惡く押しの强い男とお祭しする▼降雪後もうかれこれ數日を經過するのに堂々たる主要道路が氷ついた雪で、安心して步けそうにもない▼このまゝ春の雪解けまで打過ごす積りにしては余り氣が長過ぎる、雪掃除は確か地方事務所土木係の仕事のやうに思ふが、今年は一體どうしたのだらう▼早いところで何んとか處置を願ひ度い

社説

アジアとソ聯 その武裝進出と防共戰線

一

エム・ゲ・ガルコーウイチ著『東洋とソヴエート聯邦』の冒頭には、次のやうに書かれてある。

「東洋―より正しくはアジアは、ソヴエート聯邦と資本主義西歐との相互關係に於いて巨大な役割を演じてゐる。すなはち資本主義はここで、より大なる利益を吸收せんがため、筆紙に盡し難い暴逆を以て、地元民族のあらゆる權利を蹂躪して居る。その故にここは諸々の反帝國主義的合言葉―ブルジョア新聞はこれを『ソヴエートの宣傳』と稱するが、それは實は寧ろロシアに起つた偉大なる出來事のアジアの曠野と山に於ける反映である―を急速に吸收する地盤である云々」

二

上掲書は一九二八年、モスクワに於いて發行されたものであり、上記文章は勿論ソ聯の立場から書かれてある。一九二八年といへば、イギリスがサイモン委員會の印度への派遣を決定し、印度國民はこれを迎ふるに組織的ボイコットを以てした年であつた。爾來まさに八年の歲月が經過してゐる。そして最近の事態はアジア諸民族の興隆と、ソ聯の國内建設、邊境への進出またイギリスの對支工作等々を中心として諸々の事象を生ぜしめてゐる。これを專ら滿洲國と北支を中心に觀察するならば、最近の華北に於ける防共委員會の成立、また外蒙古共和國代表の認識不足に基づくと解せられる滿洲里會議の決裂等の如く、ソ聯の東方經略の東南への進行と、これに對峙反撥するアジア諸民族共同の防衞戰線布置といふ最も緊張した情景のうちに、この年を送らうとしてゐるのである。

三

昨日の電報によれば、イギリスは、近くロンドンで開催する海軍軍縮會議にソ聯代表の參加方を要請したといふ。ソ聯も建國以來もはや十九年諸列强とは外交に於いて協調し經濟的には利得せんとする一國のみの社會主義といふ態度に出てゐる。曾つては惡罵痛擊した國際聯盟へ恬然と參加したのも、かれらに言はせれば「情勢の變化」ではあらう、ともあれ、我らは帝制の時代は言ふも更なり、内政全く改められた現在のソ聯に至つても、かれらのアジアに對する政策は、ロシア國家資本の武裝的進出に外ならないことを指摘する。しかもその武裝進出に目新しい理論の武器を加へてゐるのを注意すべきであらう。事實に於いて、現にソ聯が外蒙に於いて何をなし、新疆に於いて何をせるかを、われらは銳く注視する必要がある。

冀東自治委員會の 戰區自治宣言文

廿四日通縣にて宣布

【通縣にて金久保特派員發】戰區督察專員殷汝耕氏は二十四日午後八時 密區督察專員公署所在地通縣において戰區縣長十八名並に香河、寶坻、寧河、昌平四縣長、各保安隊總長を召集、緊急會議を開催して戰區自治を宣布し「冀東防共自治委員會」の結成を宣言した、宣言全文左の如し

宣言

我が人民の黨政に苦しむや久し、本委員長等は外に時勢を察し、内に輿情に順じ特に自治を布き民と與に更始し謹んで宣言を布すること左の如し

現政府は

國民黨の把持する所たり、秕政百出し民生を聊んぜず、其弊々大なるものを擧ぐれば黨人跋扈して唯利を是れ圖り、辛亥の革命の衰の力を藉りて始めて滿淸を倒し、嗣で大權の旁落を以て遂に二次革命を起し、鐘山位を竊にし、湖口兵を弄す、人心已に去り收拾し能はず土崩瓦解して敗るゝも亦忽ちなりき、黨人は逃亡して近くは扶桑より遠くは歐米に及び、醜聲播揚し羞を神裔に貽す、乃ち天は華を祚さず、袁氏帝を稱して雲南首めて難じ、洪は傾覆し、袁も亦旋て斃る黨人は冠を彈じて相慶び、復た故國に歸る、國民は若輩の此挫折を經て以て必ずや能く痛く自ら悛め禍を ひ民を利せんことを企望せるに、乃ち權を競ひて遂げず、復た三次革命を起し、名けて護法を曰ひ、其實法を毀して各省獨立分崩離析し、實に此役に肇りて二十四年來、兵事息まず原野を尸塗して天下之に苦しむ厲階誰とかなす、實に之れ黨人大罪の一也、工は肆に安んじ、農は畝に安んじ商は市に安んず中國は本と鉅富無く、何れよりか雇傭の爭ひを來さん蓋し孔子が三家の階級制度を墜してより早くも已に破除せり、

故に曰く

貧を患へずして均しからざるを患ふと、數千年來の社會情形は只赤貧ありて大富無く、歐米各國の貧富の階級森嚴にして鬪爭日に甚しく、富者は其雷霆萬鈞の勢力を挾みて一切を凌轢し、而して貧者は台隸牛馬となりて仰首伸眉の餘地無きに至り故に工會農會の組織ありて以て抵制をなすが如きに非ず、乃ち黨人は國情を知らず歐米の唾餘を 拾してマルクスの邪說を傳へ、ソヴエートの虐餤を播き、其は兩廣に始まり其の荼毒工會農會は水の湧くが如く、繼て長江流域に、終に全國に及び雇傭の爭に苦しまざる無し、絕たざること縷の如き實業は乃ち黨人の爲めに其本を傾けて其根を斷つ、且つ十三年、聯露容共してより以來、青年は無智にして其迷醉を受け天理人 地を掃ひ以て盡くす、今や赤禍は江西を滔天し、刧餘已に孑遺無く創を受け、元氣已に傷つき、黔蜀秦隴晉豫の郊は匪禍尤も烈し、此れ實に古今中外の大變にして數千年來未曾有の浩刧たり、厲階誰とかなす實に之れ黨人大罪の二也、

孔子の道

は孝悌忠信にして民族の信條實に此に賴り數千年を歷て數澤綿遠、天經地義、磨滅す可からず、此れ中華立國の精神にして、亦東亞各友邦の共同信仰する所の者たる也、乃ち黨人政を主りて倫紀を刪し綱常を毀し、孔氏の宮は淪して中山の堂となり、邪說猖狂して大道將に晦からんとす、六經は之を高閣に束ね、三民列して教科となり道を離れ經に背き、聖教入を罪し國本摧殘し覆亡憂ふるに堪へたり、厲階誰とかなす、實に緊れ黨人大罪の三也

中華の立國は辭を以て本となす、項貫みて餓り、事を南畝に盡す、聖君賢相は玆に稼穡に務め水利農田は特に宸慮を煩はす、故に滿坑滿谷時慶年あり、乃ち黨人の政を主りてより、始めは則ち西北旱て、繼て東南の巨浸に及びて防水の欵は半ば腰囊に入る故に寅禍江患歲として之れ無きは無し、現政府は根本の救濟を圖らず、端無くも忽ち棉麥借欵あり、人の乘餘の取りて我の物力を隳す、是に於てか穀賤くして辭を傷つけ、村墟は凋敝し四海困窮、哺を待つ嗷々たり、輸入超過十億を超へ此を長して滔々、國何んぞ國たらん、厲階誰とかなす、實に緊れ黨人大罪の四也

善隣親仁

中國の民族は素と和平を尙びす、古へ明訓あり匈奴の橫暴を以てして漢は竟に與に和親し、回紇の誅求に、唐は乃ち結好す漢唐宋明一區宇に混じ聲威遠く播り曠古儔する罕し、此れ皆我先民が胸襟廣大にして地は瀛海を負へるが故に能く大一統の業を成せる也、黨人は革命に奔走して三島に崎嶇し但た成功を求めて一切を惜まず、中日の糾紛は知らざる者は以て隣强の に出づると爲すも乃ち實際は皆黨人の自ら之を招くによる也況んや親日して竟に排日し、聯露して遂に反露を致すをや、但た目的の爲めに手段を擇ばず、國際信義は 棄して遺す無く甚しきに至りては一切の帝國主義を打倒することを高唱し構へて友邦を怨み益々孤立を成す、喪權失地、國步は日に艱なり、厲階誰とかなす、實に之れ黨人大罪の五也

儉以て廉を養ひ、勤を以て拙を補ふは古へ官吏の奉じて箴規となすところなり、黨人は歐米に醉心し起居服御侈を極め奢を窮め、 を大道に迎へて民居を折毀し數千餘家流離して所を失ひ孫墓の富麗なる各皇陵を蔑す、上の好みある者、下必ず甚しきあり、是に於てか奢侈風を成し上下泄沓中華勤樸の風は黨國に至りて遂に一掃して遺す無し、且つ財用既に竭き貪汚に出て羅掘已に窮まり公債を濫發して大勢日に非なり、乃ち現金を集めて、民生を恤はず僅かに其私を顧みて今や白銀の風潮は北より南より、全國騷然たり、厲階誰とかなす、實に緊れ黨人大罪の六也

夫れ黨人

の政を失する誠に髮を擢きて數へ難し本委員長、革命に從事し死生に出入し黨國の群英は率ひて皆舊好なり、恒に居るに外交内政を以てし、煎迫此の如し、決に途徑を闢くに非されば、決して國存すべき無し、國事に參與する歷して年ある所、に忠言を進め、未だ採納を蒙らずと雖も、然して尙 首企望するに必ずや能く翻然改圖し除舊佈新せんことを以てせり、今や五全大會既に幕を閉ぢ議決の各案は、尙ほ是れ耳目を粉飾す本委員長の十五日通電して言へる所は期せずして驗かなり

近く更に共匪は東來して隣りに をなし、現銀を集中して金融を擾亂し、以て垂死の人民をして復た昭蘇の望無からしむ、倒行逆施、一たび此に至る、吾民何の罪か、同じく淪胥を受けんや、本委員長、嘗日時難、忍んで忍ぶ可き無し、已むを得ず戰區四百萬人民の呼 を接受し、起つて自救を力圖す、本日より起り、中央に脫離し自治を宣布し聯省の先聲を樹て、東亞の和平を謀る、望むらくは各省民衆國體、軍政の領袖、毅然興起して奸凶を擯除し憲法を制定し然る後賢德を隣選して之を首長となさんことを、長治久安、國家の前途其れ冀みあるに庶幾ん乎

中華民國二十四年十一月二十四日

冀東防共自治委員會

委員長 殷汝耕

委員 池宗墨 王廈材 張慶餘 張硯田 趙雷 李海天 李允聲 殷體新

重要々求豫算は 全額獲得方針堅持

—陸軍首腦部會議で決定—

【東京國通】陸軍では昨廿六日午後八時陸相官邸に首腦部會議を開催、來年度豫算の復活要求方針に就き協議した結果

滿洲事件費は滿洲國幣統一に伴ふ自然減だけは原則として承認する、資材整備費、五ヶ年計畫に就ては大藏省は三ヶ年延長して八ヶ年計畫としてゐるが、國防計畫上絕對に五ヶ年計畫を採るを要する、されば要求全額の獲得は絕對に必要であり又兵備改善費が二千萬圓に削減されれば資材整備費との均衡が破れ近代國防の基調を僞す新式編隊は不可能となる、故に飽くまで要求額の全額が必要である、其の他一般新規要求では大藏省の查定を承認する

と言ふに意見一致し川島陸相が極力善處する事に決し十時散會した

劉振東の殲滅戰

松井討伐隊戰鬪狀況(二)

到る處の戰鬪に於て「匪賊の彈が中つてたまるものか、俺に續け」と呼びつゝ右手に紅の日章旗を、左手に軍刀をかざしつゝ最先頭を躍進する鬼神の如き勇士に、何時からともなく「日の丸小隊長」といふ渾名が附いてしまつた、之が全中隊尊崇の的となつて誰一人知らざる者無き前田中尉の戰場に於ける横顏であつた秋風颯々と吹き渡る去る十月十四日謝字杖子附近六二三高地の戰鬪に於ても亦中尉の勇猛果敢なる奮鬪振りは齊しく全軍注視の的となり、敵前いさゝかも臆せず、猛進又猛進敵をして啞然爲す所なからしめた鬼神の如き奮戰振りは全軍の士氣を彌が上にも鼓舞し遂に敵匪を全く潰滅せしむるに至つたが嗚呼此の日を最後として全軍齊しく愛敬し、尊崇の時にして措く能はなかつた「日の丸小隊長」の姿が永遠に戰の場から消え去つてしまふとは誰が豫知し得たであらう、此の日戰ひ將に酣ならんとして彼我僅かに數百米に接近し、戰塵濛々と立ちこめ屍々累々として銃聲四邊に漲り、高地一帶殺氣溢れ息つく暇無き激戰狀態に入つてゐた此の時である、全軍一齊に誰言ふともなく「日の丸小隊長が現はれた」と活々とした叫びが上つたのは、實に見よ、敵前僅か二百米の最高稜線上に降り注ぐ猛烈な十字火の中を臆する色いさゝかも無く、右手に日章旗、左手に軍刀の阿修羅の如き一個の勇姿が悠々迫らず、躍進又躍進敵匪に迫りつゝあるではないか、前田中尉は飽く迄敵の存在を無視して悠々無人の境を猛進して行く!

「それつ!日の丸小隊長が現れたぞ」全軍の士氣は頓に上つた、山頂附近の岭嶺、岩窟を巧みに利用せる敵匪は之を見るや一齊に重輕機關銃の猛射を浴びせかけた、「それつ!中尉を犬死させるな!」憤激の色を成した我が軍は我遅れじと中尉の後から怒濤の如く押寄せた右手に高く日章旗をかざして悠々前進して行く中尉は味方の猛擊に狼狽しつゝも重輕機關銃の銃口を一齊に此方へ向けて、息もつかせず集中射擊を浴びせ始めた敵匪の猛射を見るや、泰然自若靜かに全般の狀況を觀察して該高地が敵陣地の鎖扼地にして、速に之を奪取せざる限り我が討伐隊全軍にとつて、極めて不利なる事態の發生することを認むるや、即時正面の敵陣地に突擊を敢行するに決し「突擊に―」の一聲高く率先陣頭に立つて、阿修羅の如く突擊を開始した、中尉は先頭に立つて刄向ふ敵を薙ぎ倒し、斬り斃し、敵前五十米に迫つた時、嗚呼天なる哉命なる哉、憎むべき敵の一彈は飛び來つて猛戰中の中尉の右胸部を貫通し、流石氣丈の中尉も深傷に堪へずドーッと其の場に打ち倒れ、血潮は忽ち中尉の絨衣を眞紅に染めた、中尉の許に駈けつけた部下はその再び起つ能はざるを直感した、中尉もそれを覺つたか、腰に挾んだ日章旗を取外し「俺の軀を一番高い所へ運べ」と命じ躊躇逡巡するを見るや一段と聲を荒げて「速く運べ」と嚴命し、苦悶の中に最高の岩石上に至るや、日章旗を押立て莞 として瞑目した、其豪勇、其の沈著、眞に鬼神も及ばざる所にして正に武人の典型と言ふべく死の直前迄日章旗をかざして敵陣地奪取の意氣を示し、從容として死に就ける橘、廣瀨兩軍神の夫れにも比すべき、今樣軍神として尊崇すべきか!

商況欄(十一月廿七日後場)

金銀市況

●上海標金 前引 一二〇八.一
●大連金鈔票 寄付 一、九四〇 引 一九四〇
高 一、九四〇 安 一、九四〇 出來高 三五〇
▲十二月十三日限 十二月二十六日限
寄付 一〇〇.〇〇 歩 九九.九五

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回賣 一〇〇四.五〇 第二回賣 一〇〇四.五〇
▲倫敦向 第一回賣 一志二片一六分九一 第二回賣 一志二片一六分二一
▲紐育向 第一回賣 二九弗一六分一五 第二回賣 二九弗一六分一五
▲大連爲替
▲上海向 九四、八〇 九四、八二五 九四、八〇
▲臺灣向 九五、一〇〇 九五、〇〇 九五、〇五
現物●大連鈔票銀大洋 一四三.五〇
現物●奉天國幣金票 一〇〇.〇〇

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一七.〇〇	一七.〇〇
豆新	三二.四〇	—
鈔新	一六.〇〇	—
錢新	一四五.三〇	一四五.三〇
東新	三八.八〇	—
滿鐵	二四.九〇	—
二産	八一.六〇	八六.〇〇

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
日取	一七.四〇	一七.四〇
滿新	一三三.九〇	一三四.五〇
東新	一四八.〇〇	一四七.〇〇
鐘新	八一.二〇	八一.五〇
日産	一〇三.五〇	一〇四.〇〇
大新	—	—

各地市況

銘柄	前場	後場
五品新	一七.三〇	—
豆甲	三三.六〇	一三.九〇
電乙	一四.八〇	—
同鐵	五八.〇〇	五八.二〇
滿拓	一六.七〇	一六.八〇
東亞	—	一〇.三〇
東興	五九.五〇	五九.七〇
日毛	三五.二〇	三五.三〇
滿新	二六.五〇	二六.六〇
二先	二四.八〇	二四.八〇
優先	一七.二〇	一七.四〇

▲横濱生糸 前場引 後場寄
當限 九九五.〇〇 九七四.〇〇
先限 九六九.〇〇 九五五.〇〇

●哈爾濱大豆
十二月限 九.八〇〇
一月限 九.一〇一
二月限 九.二〇〇
出來高

●同 小麥
十二月限 一.六六二
一月限 一.四〇〇
二月限 一.一二〇
出來高

▲神戸豆粕
十二月限 四.〇四
一月限 三.九七
二月限 三.九六
三月限 三.九七
出來高 三.九九

新京取引所市況

(十一月二十七日後場)
現物(一石値段)
定期(混合百斤値段) 寄 引

	寄	引
大豆 先物	四.三〇	三車
十二月限	四.五三	三車
一月限	四.二七	二車
二月限	—	—
三月限	—	—
高粱	—	—

鈔票對金票 二十八日限 十三日限
寄 一〇九.八〇 一〇九.八〇
引 一〇九.六〇 一〇九.六〇
出來高 万千 一万千

手形交換(二十七日)

金票三六枚 五八六、八四八円三三
鈔票一枚 二六九四円〇〇
國幣九〇枚 六六一、七二九円九五

鮮魚小賣相場(二十七日)

百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	四二	三六
氷タイ	八四	四八
チヌタイ	三六	二六
連子鯛	三〇	一二
アマダイ	四六	三六
中小タイ	…	…
ブリ	三〇	…
カツオ	…	…
ヒラス	…	…
サワラ	二五	二四
サバ	二二	…
アヂ	…	…
カレイ	二二	一〇
ヒラメ	二三	二二
ボラ	九	二
コチ	一四	二
コノシロ	二二	一二
キス	二四	…
イワシ	一三	九
ムツ	…	…
アジ	…	七
ヨリウ	…	…
サツ	…	…
マナカツオ	七二	二五
タチウオ	…	…
カナ頭	…	…
グチ	…	…
ホーボー	一八	八
タコ	一八	一七
イカ	五四	一八
水エビ	四六	二四
イセエビ	一〇八	一四
エビ	七二	四八
アナゴ	二六	一四
カイ柱	二五	…
アマノコ	五四	一〇
カワビ	三〇	…
シヂミ	八	二〇
アサリ	…	…
カマボコ	五五	三〇
チクワ	…	六
クヂラ	…	…
マグロ切身	一、三〇	…
ニベ同	…	…
ブリ同	…	…
ヒラス同	…	…
サワラ同	四三	三〇

最近の三河事情 (1)

額爾克納左翼旗 副參事 藤岡仁

一、三河各屯の沿革及人口

三河は以前から後貝加爾カザックに識られてゐた、彼等は此の地に來て牧草を刈つたり中には此の地に多期放牧場を設け其の附近に牛を飼つたり、又一晩泊りで此處に來て狩獵をしたものである

歐洲大戰から露西亞革命當時ソヴエート生活にあきたらぬ白系露人は、遙かに三河に移住し始めた

額爾克納河を越えて移動した白系露人は主として河の邊に農村となつて三河の方々に擴つたのである、斯うた幾年かゞ續く間に露西亞住民によつて村の人口は次第に増加し一九三五年迄に住三河の人口は一部落で戸數一三九、人口男女九〇〇名を數ふるものさへある、自一九三五年至一九三五年の人口増加を表示すれば左の如し

△露人

年度	(成年男) 前年末	増加	(小供) 前年末	増加	(成年女) 前年末	増加
一九三一年	一、〇四四	一一五	一、八四五	二二六	八四一	八六
一九三二年	一、一六九	二〇二	二、〇八一	二六〇	九三〇	一七九
一九三三年	一、三七一	三〇五	二、三四一	三〇二	一、一〇九	一九八
一九三四年	一、六七六	三六七	二、六四三	四一三	一、三〇七	四八九
一九三五年	二、〇四三	—	三、〇五六	—	一、七九六	—

△滿人

年度	(成年男) 前年末	増加	(小供) 前年末	増加	(成年女) 前年末	増加	露滿合計
一九三一年	二〇四	一九	一二三	一九	六二	一四	[illegible]
一九三二年	二二三	三六	一〇二	三三	四八	[illegible]	[illegible]
一九三三年	一九六	三二	一四四	八	六四	[illegible]	[illegible]
一九三四年	一五五	八	一三六	一六	四六	[illegible]	[illegible]
一九三五年	一六七	—	一二〇	—	五七	—	—

三河の住民はブリヤート、ツングース、ヤクート・オロチヨン及び漢人移民、白系露人が主である、全住民の生活樣式は定住、遊牧及び狩獵民族に分つことが出來る、露人と定住せる小數のブリヤートツングース及び漢人は定住民に屬しブリヤート、ツングースは遊牧民に、ヤクート・オロチヨンは狩獵民に屬する

二、政治情況

最近三河に後貝加爾カザックが來た頃、地方行政權は蒙古人の手に有つて、露蒙人間の友交關係の改善には悲感すべきものが無つた双方で時を定めては會合し、互に自分達の頭目を通じて問題を圓滿に裁き、そして住民は蒙古人に對する義務を決して怠らなかつた、露西亞住民が反對政治に置かれたのは、一九二〇年頃で、三河が舊黑龍政廳の手に移つた時であつた、住民は法外に高き課税に對して抗議すべき何等の權利を有たず、例へば一デシヤーチンの耕地より廿五弗を徴收せられ(現在は二圓五角乃至五圓)採るに足らぬ種々の口實の下に、人民は莫大なる罰金を拂はされ、或は投獄せられる等、斯した事が滿洲建國迄續いたのである、此の國は露西亞人に他に民族と同等なる權利を與へ、税金は最少限度に下げ地方の健全なる發達に大なる關心を持つ

南滿

滿鐵大弘報機關設立の計畫成る

産業・經濟・文化等全般に亘り 滿洲國の實相を海外に宣傳

【大連國通】松岡滿鐵總裁は就任以來滿鐵の實體を海外に宣傳すべき大弘報機關の設立を計畫し赤木囑託を中心として社內宣傳係、英文係、弘報係等の關係機關を網羅してこれが研究を行はしめつゝあつたが此程大體の成案を得たので松岡總裁の歸任を俟つて內容を提示しその承認を求めて正式設立に移る事となつた、案の內容は從來の無統制な海外弘報機關を擴大統一し總裁直屬の一課を設けこれに在外の滿鐵機關を動員して滿鐵のみならず滿洲國の產業、經濟文化、全般に亘る英文及び佛文の刊行物を定期的に出版全世界に頒布する外滿洲國のニユースを正しく海外に放送するため上海に外國通信員との連絡機關を設くる計畫も考慮されてゐる

鐵路總局の北滿ペスト對策決定

【奉天國通】北黑沿線小泉子英家窩堡附近に於て廿三日までにペスト死亡者廿六名に達したので、鐵路總局ではその對策として

一、北安、龍鎭間旅客輸送並に獸毛皮の驛託送停止
一、寧年、訥河間獸毛皮の託送停止
一、北安、克山、泰安、寧年に防疫處を設置

等を實施すると共に一兩日中に總局より防疫班を派遣する事となつた

小川前大連市長 吉林丸で歸國

【大連支社發】滿四年の任期を卒へた小川前大連市長は二十六日出帆吉林丸で家族を纒めて故山に歸つた、この日埠頭岸壁は名士多數の見送りで時ならぬ賑ひを呈した

東拓ビル 上棟式擧行

【大連支社發】大連大廣場に偉觀を添へる市役所橫に新築中の東拓ビルは、工費七十五萬圓を以て淸水組に落札し本年四月から工事に着手した堂々たる五階建であるが工事も頗る順調に進捗し二十六日午後四時上棟式を擧行する運びとなり、之を以て本年度の工事を一先づ打切り明春の解氷期を俟つて繼續施工さることになつた、完成は來年八月の見込みであると

大連連鎖商店街で 共同購買部設立 經營合理化策として期待さる

【大連支社發】不振の商店街として話題に上つてゐる大連連鎖商店街に於ては常にこれが挽回策を考究して居るが殊に商店經營經濟の研究には相當頭を惱ましてゐる模樣である、曩に同商店街經營合理化策として共同購買部を設け營業上のサービス用品、事務用品、店員用品、家庭用品等の共同購入につき研究を進めてゐたが此の程包裝紙及水引の注文を發した、此の試みの成果に對しては組合員間に多大の期待を持たれてゐる模樣でその品種の擴張に就ても希望によつては漸次行はれる筈であるこの共同購入の成績によつては經營經濟の見地より連鎖商店組合が輸入組合を通じて各種商品の共同仕入を行ふに至るものと見られてゐるが、此の場合の各個の保證關係等に關し諸種の材料により研究を

東滿

吉林 滿鐵事務所 吉鐵と事務引繼ぎ

【吉林國通】開設以來廿餘年間吉林に於る滿鐵の代表機關として數々の事績を殘した吉林滿鐵事務所は今回行はれた鐵路總局の職制改正に伴ひその所管事務を吉鐵に移管されることゝなつたが愈々廿八日を以て事務を打切り同日吉鐵に引繼ぎが行はれる筈である同事務所は大正元年十二月奉天滿鐵公所派出員の手により誕生し大正七年四月一日吉林滿鐵事務所として開設を見、昭和三年時の奮軍閥の强烈なる彈壓を受け乍らも現所屋を竣工させ今日に至つたものである

倘山口所長は滿鐵本社總務部に榮轉するが他の所員は全部現狀の儘吉鐵へ編入される豫定である、而して事務引繼は廿八日行はれ同夜は吉林俱樂部に在吉知名士多數を招待披露宴を催す筈である

吉林驛の改裝に着手

【吉林支局發】大吉林の玄關口たる吉林驛舍の改築は都合により一時延期となりたるが同驛に於ける乘降客は每多一千名以上に上り狹隘なる建物の中は常に混雜を極めてゐることに鑑み、山本驛長は旅客サービスの見地から驛舍の模樣替へを鐵路局に申請中なりし處愈よ其認可があつたので從來の運輸取扱所を中ホームに移設して其跡を旅客室に充て從事員の執務能率增進を圖ると共に從來三等待合室內にあつた賣店を他に移設して其跡は鐵路案內所を設置し一般旅客に對し鐵道に關する諸般の說明を與へて便宜を供することゝなつた、尙現在の手小荷物取扱所は狹隘に失し不便尠なからぬので之れが擴張方をも申請中の由であるから、此方も早晩實現を見る筈であると

吉林官消 創立總會開催 難產克服・晴々しき門出!

【吉林國通】當地官吏消費組合創立總會は廿六日午後二時半より吉林俱樂部に於て開催第二軍管區司令部を除く在吉滿側全機關代表者四十五名參集、開會の辭に次いで盛委員長より經過報告並に定款の審議があり、李省長を理事長に中野總務廳長を副理事長に滿場一致推戴、理事長挨拶、各役員委囑任命を終つて午後四時散會、本年春以來十ヶ月難產の吉林官消も遂に誕生、第一步を踏み出した譯である

教育廳長會議提出の吉林質疑事項決定

【吉林國通】第四回教育廳長會議は來る廿九、卅兩日間新京に於て開催されるが、吉林よりは張教育廳長、長濱學務科長、牧野視學官の三名が出席するに決定した、而して吉林より提案される質疑事項は

一、御眞影下賜に關する件
二、滿洲國地圖頒布に關する件
三、節日唱歌制定に關する件
四、日人經營滿人教育機關設立認可權所在に關する件
五、學校教科用參考圖書發行及び販賣認可權の所在に關する件
六、路立扶輪學校設立及び移管の方針並に手續に關する件
七、留學生歸國後の就職斡旋及び統制の方針に關する件
八、省及び縣有學田の管理及び處置に關する件

で右の他希望事項其の他も同時に提案される筈である

田中領警署長 近く歸還

【吉林支局發】吉林總領事館警察署長田中新八氏は十一月廿二日附を以て外務省よりの歸朝命令を接受したので近く行李を收めて內地歸還の途に就くことになつた

同氏は昭和六年春着任其後吳仁華殺し犯人の護送に必死の苦心を費したを始めとして事變發生以來居留民保護の爲めの幾多の難問題に善處して功績を擧げられ居留民からは非常に其離任を惜まれてゐる

尙氏は近來積勞の爲め非常に健康を害して歸朝後は相當期間靜養の上再び思ひ出多き當地に來りて他方面に活動の地步を求める意嚮なりと聞く

吉鐵管下の監理所長會議

【吉林國通】鐵路總局今次の職制改正により新たに主要地に監理所が設けられ現場機關の指導監督の任に當ることゝなつたが、吉鐵に於ては之が運用の完璧を期する爲め廿六日午前十一時より同局會議室に於て第一回監理所長會議を開催した、出席者は大關吉林孫新站、星野圖們、松尾牡丹江の四監理所長、路局側より正副局長、各處長並に關係者約十五名で、先づ西川副局長の訓辭、各處長よりの希望並に指示事項說明、各監理所長より希望意見の開陳ありて直ちに具體的協議に入つたが、引續き廿七日も午前十時より開催された

圖們青年團 第一線部隊を慰問

【圖們國通】圖們青年團の第一線軍隊第二次慰問團は廿五日正午折柄當地方近年稀な尺餘の積雪を冒して先づ圖佳線大荒溝驛に向ひ、同地に下車〇〇中の將士を親しく慰問、圖們市民の熱誠こめた慰問袋と、青年團の感謝狀を贈り歸途汪淸に向ひ第一線に活躍中の〇〇部隊を同樣慰問した

吉林警察廳で 行政警察官試驗擧行

【吉林國通】滿國治廢に備へて今回吉林警察廳では優秀滿人行政警察官を養成する爲め廿五日受驗者百八十三名に嚴密な行政警察官試驗を行ひその結果百四十三名を採用したが、之等採用者は臨時警官練習所にて約一ヶ月間各般の準備教育を終へた後、樺、敦化兩縣方面に配置されて活躍する筈である

龍江防疫委員會 ペスト豫防對策

【チチハル國通】克山、依安地方の疑似ペスト防疫對策に關する第一回龍江防疫委員會は二十六日午後一時省公署で開催、兒玉本部隊の平川軍醫部長、飯島憲兵隊長、永井總務廳長、荻本軍醫正、千葉技正外鐵路局、領事館警察、市公署等から關係者出席、先づ千葉技正より發生蔓延の情況報告あつて荻本軍醫正より軍部側の防疫對策を說明、次で鐵路局より種々報告あつて左記事項を決定し午後四時散會した

一、流行病をペスト疑似として防疫方法を樹てる
一、寧年、泰安驛に於て乘降者、通過者並に物資の檢疫を行ふ
一、民政部より豫防液三萬人分の到着を待つてチチハル市民に接種をなす
一、本會の外別にチチハル防疫委員會を設く
一、當地侵入を豫想し隔離所を設く

北滿

機關車を修理補充 哈鐵輸送の强化

一月上旬頃までには完成

【ハルビン國通】哈鐵管下に於ける貨物輸送狀況は現在每日濱綏線三本乃至四本、濱洲線二本、京濱線八本の貨物列車を運行せしめてゐる、哈鐵局の計畫輸送よりみれば廣軌線關係に於て現在の貨物列車用機關車は八十四臺であるが尙三十臺の不足を來してゐる現狀で哈鐵當局ではこれが補充と輸送能力の强化を急ぎつつあり、目下各機關庫に於て接收當初よりの中古機關車の修理に當つてゐるが十二月一杯乃至一月上旬頃までには完成する見込みである、而して現在の哈鐵の收入は一日八、九萬圓であるが右輸送計畫實現の曉は優に一日二十萬圓見當の收入を擧げ得る見込みである

チチハル全市 まる二日眞暗闇 非難の聲たかまる

【チチハル國通】當地電々管理局發電所の發電機取替途中の故障で廿五日夕刻より全市殆ど暗黑化し市民に多大の不安を與へたが廿六日に至るも復舊せず廿七日朝修理が出來ると局側では辯明してゐるが丸二日間の停電は未だ曾てなく一般より非難の聲が高まつてゐる

家庭

「家庭婦人」と「交際」
家事の餘暇にする交際は 主婦の最大急務です

人は社交的の動物でありますから、交際せずして人生の幸福を享けることは出來ません、ですから互に往來して感情の融和を計り、彼れこれ智識を交換して進んで行くべきは申す迄もありません。

ところが婦人は多く家事に忙しく交際の餘暇に乏しいので動もすれば心身の不健全を招き、一家の平和を破らるる方があります。婦人が始終家にばかり居りますのは、家庭のことに專になつて、毎日千篇一律の生活を繰返して居るので、之が爲め安逸にして居る人は精神が朦朧としますし、多忙な人は神經が亢奮して、自分の過失を見ることも出來なくなります、さうして壓制を被ればヒステリーとなり、寛大にせらるれば、氣儘となる上に偏狹で、感情の過敏となり易いのであります。これに引き換へて、家事の餘暇を以て交際しますれば、精神が自ら打開けて

日頃の

鬱氣が撒ぜられ、談笑の間に新しい智識を得る事が出來ると共に、自己の缺點を覺り、他人の長所をも見習うて自然一家の平和に資することが出來るものであります。尤もそれも茫然として交際して居つては此の様な益もありますまいが向上進歩と云ふ者へを常に念頭に置いてゐるやうにすれば人の應接を見て自分の應接の拙きを知り、他家の室内の裝飾によつて我が家のだらしなさも覺り、或は今迄自分程えらい者はないと思つて居た慢心が自ら消滅するとか、其他一日の清遊に平常の不快を洗ひ去るなど、一としてその人の利益、一學の利益にならぬものはないのであります。我國在來の風習として一寸した

訪問客

にも、お茶やお菓子を出すのが附物のやうになつて居ることは昔と經濟事情を異にし、多忙にして複雜な今日の時代には頗る不適當なことではありますまいか此點は特に饗應せんが爲めに招待した場合の外は絶對的に飲食物を出さないと云ふ西洋の風習に倣ひたいと思ひます。野蠻時代を去ること遠からぬ時代ならば兎に角今日の文明社會に於ては、全く飲食に依らず交際の興味を得ることは容易いことと存じます、尤も習慣は第二の天性ですから、初めの間は多少面白味の程度が淺ひかも知れませんが、二度、三度するに從つて淸らかな交際の趣味が湧き出て來るでせう、さうしてお互に睦み語り合ふのが宜しいので、お天氣のお話でも新聞

雜誌上

の談話でも當日の會合のことでも子供の教育でも、何でも捌け合ひ、打解けて話せばこの位面白味のあることはないでせう、兎に角人は家の中にばかり引込んでくよ／＼して居てはいけません。人生僅か五十年です。此の間は實に僅かなものですから、つまらぬ取越苦勞して日を暮すのは損です毎日毎日の生存を悦び誠心誠意、盡すべきは盡し、交際もして打寛いで暮すことが肝要です、さうすれば□□せずして人生の樂を享けることが出來るのであります。

あなたのお體に 充分冬の用意を
いまの間にしておきませう ではどうすればよい？

寒くなると同時に日光が弱くなるために今までこの方面から受けてゐたヴイタミンDが缺乏し、このため骨髓の發育が惡く、腺病質になり、病原菌に對する感受性が増し、特に感冒にかかり易くなりますが、これにはどうしてもヴイタミンDを日光の紫外線以外から補給するやうにしなければなりません

〔幸〕ひわが國にはこの成分を含んでゐるいわし、にしん、さけ、乾椎茸、などが澤山ありますからかうしたものを多く用ひるやうにしたらよいと思ひます。殊にいわしは今が丁度時期なので、なるべく食べるやうにし、またこの安いときに買つて置き、日光に充分あてゝひものにし、蓄へて冬へ入つてから利用することをおすすめしたいと思ひます

〔次〕に冬に對する準備として必要な榮養は蛋白、鐵、銅などを含んだものを攝取することです、蛋白質は特殊な力學的作用をなすものでこれをとると熱量を増して來ます、しかしそれには鐵分が必要で、これが多いとたべた食物をよく燃燒させるので身體が非常に溫まります、それには鐵分の多い牛の肝臟などが結構です、牛肉を食べて一晩中暖かいのはこのためです

〔そ〕れでは、鐵分さへあればよいかと云ふにこれは銅とヴイタミンAも入用で、かきにはこのどちらもありますし、また肉や野菜には大概Aが入つてをります、一方脂肪や熱量は相當高いものですからこの攝取も忘れてはなりません。かういふ風に榮養をとる一方風呂へ入つて熱を□體に傳導し同時に新陳代謝を高め、日光浴によつて紫外線を受け、ヴイタミンDの補給をおこたらぬやうにしますと、大概の冬は無事息災に、健康で越すことが出來ます。

家庭メモ

△回蟲、蟯蟲、十二指腸蟲の藥 蟲にはセメンエンの外にザクロの根の皮を煎じた汁もよく、大を卸してもよろしい。蟯蟲は蓬の煎じ汁がよく、センブリ（當藥）も效きます。十二指腸蟲にはアギチンキやヤマジソ（山紫蘇）を煎じた汁もよろしい。

女は男に較べて ナゼ泣き易い
肉体的方面より説明すれば

女は悲しみ易く泣き易いことは誰れでも知つてゐますが、同時に又病人や老人の感情が變化し易いものであることも見逃せません。ところで病人や老人の中には當然男も含まれてゐるのですから、女が男に比べて悲しく泣き易いと云ふことを男と女の精神的な違ひであると云ふよりも、弱い肉體的な方面から説明する方が至當のやうです

◇

で、悲しいと云ふ感情が起ると、隨意筋の弛緩又は血のめぐりの惡いのや身體の一般的衰弱とは大きな關係を持つてゐると云ふことは多くの學者の一致した所であります。病に罹つた時は非常に怒り易く、疑ひ深く嫉妬、愛憎も烈しく、些細の事にも心配するやうになりますし、又腹の空いた時と腹一杯の時と、愉快な時と疲れ又は退屈した時とでは、それ／＼變つた感情が動きやすいことも明らかです。

◇

女が男よりも悲しみ易いのは、抵抗力少く筋肉が弱いために勢ひ體の諸機關の沈滯、血のめぐりの障碍、隨意筋の弛緩等の最初に述べた悲しみの根本要因である生理狀態を起し易い性質を持つてゐるためだと云ふのです。

◇

でかうした理由から女は男よりも、老人は青年よりも悲しみ易く、從つて同情の念を起し易いものです、健康、特に筋肉が丈夫であると否とが、悲しみに何よりも關係が深いとランゲ氏が云つてゐます。

◇

又一度發生した悲しみの度合が、男のそれとは全く比較にならぬ程强いことも、唯男と女の精神上の違ひだけで十分に諒解されるものでなく、以上のやうに、身體の狀況から説明されなければならないとしてゐます

お料理獻立
鳩のカツレツ（青豆添へ）

これはユートレツト・ド・ピジヨレ・オーブンチボワと申します佛蘭西料理でございますが御手輕に御家庭で出來ますから申上げます。鳩もお安くなりまして只今は一羽が三四十錢位でございます。

【材料】（六人前）鳩三羽 メリケン粉少々、玉子一ケ パン粉少々、ヘッド大匙三杯、グリンピース（青豆）罐詰一個、バタ中匙一杯、トマトケチヤツプ少々

鳩を頭から二つ割とし、骨をとり鹽、胡椒、メリケン粉、玉子、パン粉をつけて揚げます、附合せの青豆はバタでいため、味をつけ、お皿に盛りトマトケチヤツプを敷いた上に鳩をのせて出します。

けふの番組
（M・T・O・Y 新京放送局）廿八日（木曜）

◎朝◎

六、三〇 建國體操（滿語）
六、五一 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 入港船の御知らせ（大連）
七、一五 中等滿語講座（奉天） 講師 秩父固太郎
氣象通報
七、四〇 中等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 子供のよみもの 赤塚久子
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京引續き新京）

◎晝◎

〇、〇一 經濟市況（大連引續き新京）
〇、二〇 晝の演藝 琵琶城山 榎本芝水
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝 販賣計 老生 美 鈴 胡琴 王 慧 敏 淸唱
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座（滿語） 關於義倉積穀問題（二） 奉天省公署民政廳行政科長 曹[illegible]元
二、四〇 下午演奏（東京）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース
三、三〇 經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
引續き 演藝（漢語）
四、五〇 ニュース（漢語）
五、〇〇 子供の時間（東京） 名作物語 黑馬物語（三） 脚色並演出 東京放送童話研究會 村岡花子

◎夜◎

五、三〇 コドモの新聞（東京）
五、五五 氣象通報・番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組・官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間（哈爾濱）
七、〇〇 亞細亞是亞細亞民族之亞細亞 滿洲國協和會理事 楊貫三
七、〇〇 俚謠（長野） 一、紹介の言葉 今町義太郎（小海小糸兩線開通に際して） 二、親澤追分 長野縣南佐久郡小海村連中 三、小谷松坂 長野縣北安曇郡南小谷村連中
七、二〇 講談 浮田秀家 寶井馬琴（東京）
七、五〇 一人トーキー（東京） 聟と結婚 辰野九紫・作 伊志井寛
八、一〇 ラヂオ小說（大阪） 兄と弟（二） 武者小路實篤・作 兄 坂東簑助 弟 澤村宗之助
八、三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 探母 公餘俱樂部票友
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱） 一、講演「財政家」タルイヂン 二、ニュース

一人トーキー
辰野九紫さんの「聟と結婚」 伊志井寛・演
（後七・五〇 東京より）

大學を優秀な成績で出た八十川榮次と光榮女學校出身の才媛近藤ピチ子とは晴れの結婚式を擧げることになつた、ところが八十川の中學時代から大學時代までの親友がこの一生一度の結婚式に列席してくれなかつたので、彼はその友人に結婚式當日の樣子やら新婚旅行その後の新婚生活などの話をきかせる

◇……◇

先づ結婚式には、八十川がある雜誌社の編輯員なので文壇の大家新人盡く列席して非常に盛大だつた、式後披露の宴會では、文壇の大御所桐野丹先生のテーブルスピーチがあり、話は八十川の聟のことになつた八十川は映畫でお馴染のロナルド・コールマンのやうな髯を生やしてゐるのである、彼はその髭帶模寫を今自ら友人に語つて聞かせるのであるその先生の話によると彼はその髯の生やしはじめはきまり惡さに、いつもマスクでカムフラージユしてゐたそうである、で人々は彼が流行性感冒だと思つた程だ、が彼としては雜誌社の編輯部における若い連中へのいげんのためでもあつた

◇……◇

さて彼は宴會後樂しい新婚旅行に出たのだ、宿ではどうしたものか番頭がねこみたいに足音もさせないで廊下を歩いてくる、そして「御用がございましたらどうぞお手をおならし下さいませ、手前共の呼鈴は時々故障が起きてならないこともございますんで…」と自分だけで勝手にペラペラしやべつてしまふ、これはほんとの一人トーキーといふものだ

兎に角新婚の若夫婦なんてものはこんな具合に三日見ぬ間にテンポも早くサイタサイタサクラガサイタみたいなもんだ

ラヂオ小說 兄と弟
武者小路實篤・作 阪東簑助・演 【後八・一〇東京】

漸く快復した兄は家庭教師に通ひ出した、そして母の留守の時弟に自分の戀を打明けた女は家庭教師に通ふ家の小間使ひであること、その女とその家の息子との間に關係のあることを最近知つて滑稽な夢を見てゐたと悟つて却つて今はさつぱりした事等を語りこれからは身體だけを大事にすると云ふのであつた。弟は學資を出して與れる篤志家とも會ひ對等でない人に會ふといふ始めての經驗に動搖する心を母の前では强ひて抑へつけてゐる。その翌晩學校から歸つた兄から散歩を誘はれ女に對する兄の考へがまた變つてゐることを聞かされた、それは小間使が主家から追はれ父に實家へ連れ歸られるところを見たゝめであつた、そして女の樣子を見て來て欲しいといふ賴みを快よく引受け翌日見て歸り娘の無事を兄に告げた、上機嫌の兄と土産の煎餅を摘んでまたしても學校を罷めて實生活に入りたいと主張してやまぬのであつた。兄が突然學校を休み貯金を出して二三日の保養旅行に出かけねばならぬ憂悶の因の何であるかを知る弟は兄に無斷で女に手紙を出し二人を友達として結び合せようとした事が成功して女からのまごゝろの返事を得たので兄の歸宅を待つてそれを見せた。女の事を思ひ切ろうと決心して歸つた兄もその手紙によつて再び變り直ぐ女の家へ急ぐのであつた。

寶井馬琴さんの 講談「浮田秀家」
▽…後七時二十分東京より

慶長五年九月十五日、天下分け目の戰鬪ヶ原の合戰に關西方の先手の大將浮田秀家は、關東勢の先手の大將福島正則と戰ひ、不幸にして敗れ、關東勢に捕はれ八丈島に流された。さてそれより二年後慶長七年福島正則は將軍家に獻上すべき酒を江戸に送らうとした。そして足輕大鐘金右衛門に舟につませ廣島を立たせた、江戸へ向ふ途中風向が變り八丈島に着いた。そこで大鐘は無人島と思ひ島見物をして居ると、異様な人物に出會つた、これぞ浮田秀家であり浮田は色々と話をする中、酒をもつて居る事を聞き、一つ飮ましてくれまいかと大鐘に賴む。大鐘は足輕の自分に頭を下げて賴む浮田を見て、これを斷る事は人情として出來ず、將軍家に獻上の酒を手につければ自分も切腹せねばならぬ事乍ら、一樽を浮田に與へる。さて大鐘は八丈島を出て江戸へ行かず廣島へ歸り、この一部始終を正則に話す正則は太閤閣下より受し恩もあり、浮田の事を同情して家康に島領を下さる樣にお願ひを出した大鐘には御褒美を下げ與へた家康も浮田を哀と思ひ、二代將軍の手から島領を與へるといふ一席

長野よりの 俚謠
後七時廿分

一、紹介の言葉 小海大糸兩線開通に際して 長野運輸事務所 今町義太郎

明十一月二十九日は信州甲州を結ぶ小海線が全通し越後信濃を通ずる大糸線も旬日の後に完成することになりましたので、簡單に沿線の概要をお話しこれに因む俚謠を御紹介いたします。

二、親澤追分 長野縣南佐久郡小海村 新津勘彌 外

小諸出て見りや淺間の山で今朝も煙が三筋立つ、八崎砂山下駄はいてヨジ／＼オーサヨイ／＼

追分枡形の茶屋で、ほろと泣いたがわすられうか、來た樣で戸がなる出てみりや風だよオーサヨイ／＼

今ぢや開けて小海の里も、今日から甲府へ汽車の旅、行く樣だ來る樣だ面影さす樣だ三里も先から足音する樣だオーサヨイ／＼

北は小海で南甲府、こゝは野邊山ステーション、女は愛嬌だ御坊は御經で東は東京だオーサヨイ／＼

小海北線全通式で、明日は目出度い祝賀會デンデンデンと角兵衛お獅子がでんぐりかへつてお惡魔はらいだケツコノコトダヨオーサヨイ／＼

三、小谷松坂 長野縣北安曇郡南小谷村 相澤忠一

目出度かろぞや世はいつまでも 鶴が御門に巣をかけた 鶴が御門に巣をかけますりや 龜がお庭で舞を舞ふ

正月二日の初夢に目出度い夢を見たわいな 向ふのお山の楠を、板に挽き分け船にはぎ、綾と錦の帆を揚げて、數多の寶を積みこんで、大黑さんのお手舵で、お惠比須さんの棹しで、四海波靜かにて、思ふ港へ着くと見た

婦人家庭講座
子供のよみもの
赤塚久子 【前一〇・〇〇新京】

大抵の御子さんは本がすきですが子供に本を與へるにはどんな注意が必要でせうか。

△まづ小さい子供に與へるものとしては

一、年齡、性別、智慧の程度に應じたものを選ぶこと
一、あまり俗つぽい繪や恐ろしい繪のあるものはさけること
一、文字はなる丈細かすぎぬもの
一、色どりがこみ入らぬもの

△少し大きい子供に與へるもの

一、小學校も上級生になると繪ばなしや童話では滿足が出來なくなつて大人のものでも新聞でも婦人雜誌でも手當り次第よむ樣になりますこれらをよんだと思はれましたらあとで適當に批評をしてやる事です批評のしかたで教育にかへる事が出來るのです
一、偉人の傳記、童話集、武勇傳、探偵もの連續漫畫等は無難なよみもの
一、雜誌なら相當な作家のかいたもの名のあるものを選ぶこと
一、女の子供はやさしい情緒をつちかふ樣なもの あまり不健康な哀話はさけること
一、言葉や内容も女らしいもの 適當な教訓を含むもの
一、裝幀とかさし繪等も上品な立派なもの

文藝

選外小説

露のある窓（下）

泉　芳雄

本田が廊下からスウッと部屋に入つたとき横になつてる女の腰から下、一本の糸をふるはせる様に柔軟な惱やましい線が、ハタとやんだのをみてとつてしまつた。男を知つて間もない女の臀部のムッチリとしたふくらみはやせた本田にはたまらない魅力だつた。立つたまゝだまつてゐた本田が手にさげた藥罐に氣がついて長火鉢の前にドッカリ餘裕をみせながら坐り、茶碗に湯を注ぎ、ユラリとのぼつてくる湯氣の臭ひに目を落してゐた。鬚へてゐるとも見える襟足にうしろ毛がクルリとまつわつてゐるのを…壁に體を預け眺めてゐたが…テレかくしに茶碗には一寸口をあてたきり…煙草を一本ぬきとつた。

「もう…ねたのかい…」ふとんの方に聲を落しながら立つてマッチをとつた。坐るとき影と光にハッキリした顔をふとんの方に向けてパチリ…電燈のスヒイチをひねつてしまつた。

それきり音の突然切れた靜けさがサッと月を誘ひ脚光を浴びた舞台の様に、女の寐てゐるふとんと男の動かない横顔とを浮ばせた。

十月の宵空をふるはせて、奉天行のであらう旅客機が赤い灯青い灯…を二重窓の露にポッカリ…ポッカリ映しながら、やがて灯も見えなくなると、エンヂンの響きだけが、この白々しい二人だけの暗さを一層深く嚴肅な無氣味なものとさせ、とり殘された男の荒い慾望だけがキリ／＼齒車をやたらにまわすのだつた。

シユッとマッチを…パッと明るくなりだん／＼細くなつて行くあかりに本田の節の太い指…ちよつとあかがしみついてゐる爪先…が浮び上つてふと消えてしまつた。

並んだ惡魔のどれもこれもが月の光のとゞかない處でニタリ笑つてゐる様な無氣味な周圍の中で窓に向つてブウッと大きくけむりをはき出した。

しばらくヂッと窓の外に見えるアパートの灯を眺めながら放心の態でゐた本田の右の頬にピリッとかすかな痙攣があつたふあ…と思ふと急に吸殼を灰に投げ捨てソッとうしろに手を帶の結び目にかけながら…ツト立ち上つた。

滿人がほろ醉ひ氣嫌で歌つてゐるらしい面白い節廻しが靜かに小窓にきゝとれた。

「いやよ…いや…」

と急に沈默を破つた二人だけの暗さに…はじめは癇高い女の聲だつたが…あとは消え入る樣な含み聲で…また靜かな沈默になつた。

無慈悲な月の光はまばらに濡れてゐる二重窓を透して二人だけの世界と忘れられた長火鉢の影を白い手先で等分に浮び出させてゐた。

濡れてゐる夜の鋪道をカラ／＼と流れて行く支那馬車の音が美しいものの樣にきこへ交錯するタクシーの警笛もやがては消えて白々しい甘美な夜の靜寂さにかへつた（完）

寛城子から（二）

奥　一

先住者に挨拶を濟ませて皆でペトロフ爺さんの店へ晝飯を食べに行つた。こゝは私の行きつけの店である。

十坪ばかりのホールの眞中にいかにもガッチリしたデカイ玉台が我物顔にホールの空氣を壓してゐる。窓べりに五六脚のテーブルがあつて、隅つこに天井すれ／＼のゴムの木と、八ッ手に似た直經一尺位の深い切れ目の葉を持つた熱帶植物がからみ合つてゐる一鉢がある。

私は以前よくバスでやつて來てはこの植物の下に陣取つて玉つきを見ながらウォッカの味をたのしんだものだ。が、今日は枯れたのか、賣つちやつたのかこの植物の見へないのは淋しかつた。

晝飾時には滿人露人がよく玉つきにやつて來る。十錢投げ出して一切の黒パンとウォッカーグラスの露人勞働者がキュッと飲みほしてキューを握つて仲間入りだ、時には舊式の蓄音器をかけてこの玉台を中心に躍り狂ふ夜もあると云ふ。玉は赤白共十ばかりづゝあつて四隅と眞中に二つ、計六つの袋の中へつき入れた數で得點を計算する日本の玉つきとは趣の異つたものだ。

私は一度こゝでロシヤスープを只で食つた事がある。ロハと云つても食ひ逃げをした譯じやない、哈大洋の非常に安い時哈大洋一圓出して金票七十錢のつりをもらつた。七十錢の金票を哈洋に換算すると一圓五錢位になつた頃だ、支那語の大して分らなかつた時だつたが『シンマ』と聞くと『ニイ的一塊錢給、三毛錢發七毛錢給ニイ、行』と云つた、氣の毒だつたので十錢チップをやつたら大きな手で痛い握手をしてくれた。金票を出し損をした事もある。して同じ様な相場を無視した計算で現大洋のつりをもらつた事もあつた。

へんなベレーまがいの帽子をかぶつて、ベラ棒にノッポの爺さんいつも無言で首を一寸前に出してコツ／＼玉台の周圍を歩き廻つてゐる。婆さんは反對にビール樽の様によく肥へ赤や青の都腰卷の様なものを腰に卷き付けてゐる。

最近は日本人の客もあるらしく、表にキッサテンと片假名の看板が出てゐる。

ラヂケウイッチ老人は毎朝直立不動の姿勢で敬禮をする。言葉は通じないが、朝の挨拶だけは事足りる、だん／＼なれて來るにつれてこの家の末娘が遊びに來る樣になつた。變なアクセントのちつともない非常に奇麗な日本語を話す。名はビヤラチャン、年は入ッ今年一年生、日本字も書きます。

「オバチャン、オコメチョウダイ、オニンギョサントママゴトスルノ、ニホンノゴハンタイテ」仲々達者なものである。母は買物のおともや、通譯にいつもビヤラチャンを使ふ樣になつた。近くの日本人の家で日本の着物を借りて、布切を太鼓の帶にむすんで、下駄をはいてやつて來た。目だけは碧いが、自分ではすつかり日本の花嫁さん氣取りだ。どこで見たのか右手で一寸すそをつまんでゐる。

「ビヤラチャンおじさんのお嫁さんになるかへ」とからかうと、「いや、日本人鼻小さい、オカシイナア」と云つて逃げ出した。なる程先生達から見れば鼻が低くておかしいかも知れない。

どこかで見た事があると思つてゐた娘は特急ハトの食堂車に乘つてゐた女だつた。ハズは滿電の運轉手、最近生れたばかりの赤ん坊がある。

ラヂケウイッチ老人はもとロシヤの將軍である。彼の寢室には彼の得意時代の禮裝軍服姿の等身大の寫眞が皇帝の寫眞と並んでかけてある。どこかの現場の臨時夜番である現在の彼は白晝この寫眞の下でどんな夢を見ながら眠るのであらうか。

月寒し

桃北好澄

▲月纖し窓にのぞみてゐたりしが茶を飲みにゆかむと友の呼ぶ聲

▲あくせくと仕事に追はれ時ありて身のめぐり思へば即ちなげく

▲錢湯にゆかむと外に出でしとき揉み寄る風に叩かれにけり

▲ふるさとの山に歸る日はいつならむ親のゐませば思ほゆるかも

▲治安掃匪に命棄てたる兵らの名ただに事もなく記されにける

▲白木の箱あまた寫せる朝にうす幾たび見れど厭さむなしに

▲骨となりて還へる兵らよ相つぎて此の國の冬は早くいたりぬ

新年文藝懸賞募集

かねてより滿洲國文化機關として王道文化の藝術運動に努力しつゝある本社では、輝かしい昭和十一年（康德三年）の新春を迎ふるに當り、この意義ある門出を祝し、本紙新年元旦號を飾るため、左の項目に分つて愛讀者より清新の意力に溢れた文藝を募集することになりました。冀くば、新らしき年を迎ふる諸兄姉の自信に充ちた作品を殺到させられんことを！

募集規定

A 種目（賞金）

1．創作（小說、戯曲）

▲四百字詰原稿用紙二十五枚以內

一等（一篇）…賞金二十五圓

二等（二篇）…〃各十圓

選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

2．長詩

▲四百字詰原稿用紙四十行以內

一等（一篇）…賞金十圓

二等（二篇）…〃各五圓

選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

3．短歌

▲用紙は官製ハガキ、一人三首以內

一等（一名）…賞金五圓

二等（〃）…〃　三圓

三等（〃）…〃　二圓

佳作隨意……本紙購讀券呈す

4．俳句

▲用紙官製ハガキ、一人五句吐

天（一名）…賞金　五圓

地（同　）…〃　三圓

人（同　）…〃　二圓

佳作…本紙購讀券呈す

5．川柳

▲用紙官製ハガキ、一人五句吐

天（一名）…賞金　五圓

地（同　）…同　三圓

人（同　）…同　二圓

佳作…本紙講讀券呈す

右の中創作及び長詩は作品詮衡の嚴正を期するため、別紙に認めた「題名及び作者氏名」を原稿と同封、余白半枚に作者略歷を添へること（郵税不足その他規定に抵觸するものは一切採らず）

B 選者

▲創作……編輯局同人

▲詩………加藤郁哉氏

▲短歌……八木沼丈夫氏

▲俳句……石原沙人氏

▲川柳……青龍刀氏

C 締切期日

本年十二月十五日（十五日の消印あるものも受附く）

D 發表

本紙明年度一月一日號紙上、賞金は發表後一ヶ月以內に送附す

E 宛名

原稿は全て「新京永樂町四丁目新京日々新聞社編輯局」宛、封筒及び葉書表には必ず「新年文藝懸賞應募原稿」と朱書すること

新京日日新聞社

國都著名醫院案內

郵便局の窓口でも國幣を受入るか

年末繁忙期の不便續出に鑑み

遞信局幹部便法を凝議

新京中央郵便局窓口の國幣不扱問題は年末を目睫に控へ窓口事務の輻輳を加へるに從つて一般公衆と係員との間の爭ひも益々多くなつてゐる模様であるが郵便局としても

不便 尠からず既に石河局長より遞信局長宛事情を報告すると共に便法についての意見を見申してゐるが更に二十三日新京記念公會堂に於て開催された全滿郵便現業員競技大會に會長として來京した中村遞信局長大久保總務課長、石河新京中央郵便局長其他幹部會合して石河局長より種々現狀を說明し速かに何等かの便法を講じ一日も早く公衆の便宜を圖るやう取計はれたしとの申出に對し遞信局長としては事情は充分解つてゐるが

便法 を講ずるにしても銀行との關係があるのでその方面の折衝もあり速急にといふ譯には行かない模様であるが年末の繁忙期までには何等かの便法が講ぜられるものと見られてゐる

北支情勢の緊迫で電報も大輻輳

中央局の平均一日一萬一千通

北支の情勢を移して最近の中央電報局は各地からの新聞電報其他通信の輻輳でまるで戰場のやうな忙しさを見せてゐる餘通の增加であるが來月になれば十二月のこととて一層輻輳するものと見られてゐる、昨年から取扱を開始した年賀電報は本年も取扱はれる筈であるが期間は十二月三十日から翌年一月六日まで▽昨年中央局扱の方は約三千通であつたが本年は其の倍の六千通と見られてゐる

厚子內親王御着袴の御儀

【東京國通】本年御五歲に成らせられた順宮厚子內親王殿下には廿六日宮中で御式例により御着袴の式を擧げさせられた

鐵道事務所營業課に混保係新設

從來滿鐵では混合保管大豆、（混保）の檢査その他混保關係一切の仕事は各主要驛の驛員から混保係員を決めてゐたが今度混保職制を左の通り改正去る二十三日から實施した即ち大連、奉天鐵道事務所の營業課に旅客係、貨物係、配車係（大連の船舶係）と相並んで新に混保係を設置し混保係には混保檢查長以下、混保檢查員、同副檢查員、混保檢查助手を置く事になつた、奉天鐵道事務所の混保檢查長には根占好人氏（元新京鐵道事務所混保主任）が命ぜられ、從來新京驛の混保詰所の檢查

人質三名無事に歸還

既報＝去る二十一日午前一時ごろ大屯附屬地接壤地特產商呂建玉方を襲つた匪首榮好恩好、大家好・金山、新刷の合流匪團は目下日滿官憲で追跡中であるが同團に拉致された家人の身上を案じられてゐたところ二十六日午後四時ごろ書記楊興田（二八）使用人孫文岐（三八）孫周林（三四）の三名は賊の手をのがれ歸家した

人中原信雄氏以下八名はいづれも奉天鐵道事務所新京駐在員となつた

ソ聯發動機船朝鮮海岸に漂着す

【京城國通】去る二十三日咸鏡北道明川附近海岸にソ聯人四、朝鮮人一乘組のソ聯發動機船一隻が漂着、取調べたところソ聯人十・鮮人一名は凍死し居り他の三名もひどい凍傷に罹り氣息奄々として居り相當永く漂流してゐた模様で同船には漁具等はなく獵銃を所持してゐるところから見てソ聯脫出を企てたものの如くであるが總督府では三名を恢復と同時に送還するよう通達した

駐奉ドイツ領事挨拶廻り

新任奉天駐在獨逸領事ローゼン氏は昨日午前十一時軍司令部に南軍司令官を訪問、新任挨拶を述べたが氏は着任前天津に駐在してゐたこととて挨拶後北支の其後の情勢に就て種々質問、これに對し板垣參謀副長より應答あつた、退出後氏は更に滿洲國外交部を訪れ新任の挨拶を爲したが本日奉天へ歸任の豫定である

南新京方面住民から高等科を要望

住民の要望で新設方申請

拓けゆく國都大新京は人口の增加とともに人家は南へ南へと伸び從つて新發屯、南新京方面からの通學兒童も增加してゐる、現在新京に高等科の設備あるのはたゞ室町小學校だけでこれら新發屯、南新京方面の高等科兒童はみな室町小學校まで遠く通つてゐるが同地方居住者市民間には早くも白菊小學校へ高等科新設の聲が叫ばれるにいたり、地方係でも右の實情を本社に報告し來春四月からでも白菊小學校か第五小學校に高學科新設方について申請中

所を基礎として豫想されたものので右の數字よりもつと增加するものと思はれる、なほ第六學年を移轉しないのは現在六年生は全部上級學校受驗準備に沒頭してゐる矢先であるのを考慮されたものである

來年入滿して來る農業經濟移民五千人

拓務省で千家族入植決定

百二萬圓豫算を通過

【東京國通】拓務省では明年度豫算の滿洲移民費百二萬圓が承認されたので從來の第四次迄の自衞移民に對する補助として五十八萬六千圓を充當して、來年度の集團移民に四十三萬七千圓を振り向け約一千家族五千名の農業經濟移民を入植せしめる事に決定した尙南米移民に關してはブラジルの移民制限令實施の結果總額僅か六萬圓を承認されたに過ぎず、將來移民の制限緩和をみる場合は特に豫備金支出を求める事に大藏省と諒解が出來てゐる

外交部當局記者團と懇談

滿洲國外交部筒井、加藤、廣瀨、森、梅谷諸氏は昨二十七日午後四時より中銀倶樂部に於いて國政記者倶樂部員と懇談した

を張るはず、なほ同會は日滿敎育の聯携並に會員相互の親睦をはかる目的で一昨年二月二十八日生れたもので現に會員五百名を擁するものである

來る三十日佐藤中將講演

地方事務所主催の時局問題講演會は來る三十日午後六時半から記念公會堂に於て開催され海軍中將佐藤藏氏が「世界の大勢と帝國海軍」と題して講演を行ふ、佐藤中將は歐洲大戰の際地中海派遣艦隊司令官として出征した人で國際的海軍情勢に精通した人として知られてゐる

日滿敎育聯合總會八日に開催

新京日滿敎育聯合會では來る八日午前十時から記念公會堂で總會を開くが同總會では會長に韓特別市長、副會長には武田地事所長のほか顧問も推薦するはずで、終つて講演會あり正午から映畫會を開き敎育映畫その他を上映、終了後午後一時から賓宴樓で懇親會

開校準備も着々進行新設二校の內容

收容數は兩校て千二百名

新京第五、六兩小學校は目下地方事務所地方係、既成四小學校長並びに大內、辻兩訓導の手で專ら開校準備中で大半その準備も終り、一月の開校期を待つばかりになつた、新設兩校に轉出する兒童數は第五小學校が第一學年から第五學年まで十七學級七百六名第六小學校が第一學年から第二學年まで各學年とも二學級づゝ十學級四百七十九名の程度のものと見られてゐる、なほ學級別內譯をみると第五小學校は

一學年（四學級）百六十四名、二學年（四學級）百六十名、三學年（三學級）百二十六名、四學年（三學級）百二十四名、五學年（三學級）百三十二名

第六小學校は各學年とも二學級づゝで

一學年百四名、二學年百十一名、三學年七十六名、四學年百四名、五學年八十四名

右はいづれも既成學校の現住

建國功勞の日系官吏日本軍人に敍勳

廿八日一齊に發表さる（一）

滿洲國政府では曩に二回に亘り本國及び日本帝國の戰死者三千六百餘名の敍勳を發表したが今回更に本國殉職者其の他の死歿者故國務院總務廳事務官田中典氏外八十七名及び日本帝國滿洲事變功勞者陸軍大將本庄繁氏以下四千九十六名合計四千百八十四名に對する敍勳を發表した、日本帝國側本庄大將以下四千九十六名に對する敍勳は特に建國に關し拔群の功績を嘉せられ特別の思召により本國側に先んじ今回發表の御沙汰を奉じたるもので本國功勞者の主要なるものは次の通りである（廿六日附朝刊揭載分は省略す）

勳一位陸軍中將 鈴木美通
勳三位故陸軍少將 堀又幸
（以下各通）
勳二位陸軍少將 土肥原賢二
同 岡村寧次
陸軍步兵大佐 石原莞爾
陸軍少將 服部兵次郎
同 高波祐治
同 茂木謙之助
同 長谷部照俉
同 平田幸弘
同 天野六郎
同 松田國三
同 高田美明
陸軍軍醫監 藤懸廣

陸軍少將 川原侃
陸軍少將 園部和一郎
同 中村馨
同 土野良烝
同 平賀貞藏
陸軍航空兵大佐 嘉村達次郎
陸軍少將 辻邦助
陸軍步兵大佐 志道保亮
勳三位（以下各通） 長瀨武平
同 齋藤彌平太
同 喜多誠一
同 原田熊吉
陸軍步兵中佐 竹下義晴
同 大迫通貞
陸軍步兵大佐 日武晴吉
陸軍步兵中佐 臼田寬三
同 花谷正
同 吉岡安直

同 田中新一
同 永津佐比重
陸軍砲兵中佐 遠藤三郎
陸軍步兵中佐 末藤知文
陸軍工兵中佐 佐藤賢
同 大津和郎
陸軍輜重兵中佐 落合忠吉
同 河根良賢
陸軍步兵中佐 佐伯文郎
陸軍工兵中佐 青村常次郎
陸軍少將 牧野正迪
陸軍航空兵大佐 長嶺龜助
同 竹內貞郎
同 岩下新太郎
陸軍步兵中佐 小河原浦治
陸軍憲兵大佐 島本正一
陸軍步兵中佐 天谷直次郎
同 岩田文男
陸軍步兵中佐 坂津直純
同 上田利三郎
同 西山福太郎
同 福島和吉郎
同 松野尾勝明
陸軍騎兵大佐 星松尾
同 山岡謙
同 黑谷正忠
陸軍步兵中佐 細木
同 宮城善助

同 宮島岩一郎
陸軍步兵大佐子爵 大島陸太郎
陸軍步兵中佐 黑石武城
陸軍少將 濱木喜三郎
陸軍騎兵大佐 坪井善明
陸軍砲兵大佐 若松晴司
陸軍少將 大谷清麿
陸軍步兵中佐 佐々木吉良
陸軍步兵大佐 高橋多賀二
同 鷲津平
同 常岡寬治
陸軍砲兵大佐 迎專八
陸軍騎兵中佐 城島榮興
陸軍少將 中島盛考
陸軍步兵中佐 久納誠一
同 小林角太郎
陸軍步兵大佐 高場損藏
陸軍少將子爵 河野悅次郎
陸軍步兵中佐 淺間義雄
陸軍步兵大佐 谷儀一
陸軍步兵中佐 砂川泰
陸軍步兵少佐 早川止
陸軍步兵大佐 松山祐三
陸軍步兵中佐 宮紫三郎
陸軍騎兵大佐子爵 田中清一
福田峰雄
三宅忠强

陸軍砲兵大佐 橋本精
陸軍砲兵中佐 山田一世
陸軍步兵大佐 加納豐壽
同 矢野晋三郎
陸軍步兵中佐 鈴木謙二
陸軍少將 岡村元
同 人見順士
陸軍步兵中佐 神宮司操
同 小濱氏善
陸軍騎兵大佐 松田仁三郎
陸軍少將 谷口元治郎
陸軍步兵大佐 飯野庄三郎
陸軍步兵中佐 關
陸軍二等主計正 原六
陸軍步兵大佐 向井金次郎
同 中山健
同 黑田重德
陸軍步兵中佐 甘粕重太郎
陸軍步兵大佐 種村茂一
陸軍步兵中佐 笠藏次
陸軍步兵大佐 石川茂
陸軍砲兵中佐 平田健吉
陸軍砲兵大佐 平山與示郎
陸軍步兵大佐 重藤千秋
同 中島鐵藏
陸軍少將 山縣樂水
陸軍騎兵中佐 馬場正郎
陸軍步兵中佐 東矢率由
陸軍憲兵中佐 三谷清

……出來上つたクリスマスのお飾り

藤影幼稚園が主催で釋尊成道の夕

來月八日記念公會堂で開催純益を同情週間へ

祝町西本願寺日曜學校及び藤影幼稚園では今回地方事務所大新京日報並びに本社後援のもとに來る十二月八日午後六時より記念公會堂で釋尊成道の夕べを催すことゝなつた、一、二部は可愛い藤影幼稚園及び日曜學校の兒童が習ひ覺えた舞踊、劇等、三部は映畫で一般入場料は三十錢であるこれによつて得たる純益金を地方事務所の歲末同情週間へ寄附する筈

尙ほこの八日はあたかも釋迦尊が悟りを開かれた佳日である、主催者側で一人も多く參觀されん事を希望して居る

濱田司令官を總理の歡迎宴

滿洲國張國務總理大臣は來る廿九日午後六時よりヤマトホテルに於いて今次新來任の濱田駐滿海軍部司令官を歡迎設宴する筈である

匪首九站潛伏中を逮捕

大屯署より首都警察廳に達した報告によれば大屯近郊を荒してゐた、匪首九站は最近日滿官憲の嚴しい討伐にたへかね、ひそかに大屯西北方二十滿里の地點大嶺鎭大窪屯の自家に戾り潛伏してゐるのを大屯署員が探知し二十六日午後五時ごろ同家を襲ひ逮捕した

吳港藤村投手職業野球へ

【廣島國通】甲子園野球大會の花形吳港中學野球部主將藤村投手は明春法政大學に入校するものと見られてゐた所最近阪神電鐵が計畫中の職業野球團入りの契約を結んだ爲吳港中學武田校長は藤村君に對し野球部除名の處分を採つた

寄附

市內日本橋通六六田窪正信氏はハルビン轉任に際し子女在學記念に室町小學校父兄會へ金十圓寄附

先日或る宴席で、關東軍の花谷參謀、近い席の連中から何やかやと北支のことを訊かれ「なあに、斯うなつたら押しの一手ですよ」と明朗な、豪語といひたい大聲、それから支那語で「他不行！（あいつ駄目だ）」等々と……その頃隣りの卓では菩薩樣についての討議が始まつてた、關東軍の菩薩樣は膽が太い。

愛よ戰ひとれ

福田正夫

泉　武八　畫

（九十）

【爭まで（七）】

その夜、丁度八時十分前である。日比谷の公會堂のざわめく會場に、いま試合の終つた瞬間を、長髪の男と、洋裝の美しくつゝましい女が、自分達の座席をさがして這入つて來た。

「こゝだ！」

さういつたのは渡邊であつた。

「や！」

前の席から立ち上つた大學生が、はつとして女性を見た。それは珠江であつた。

「し、勝さんも一しよか？」

「や、俊一さんですか？」

「まあ！」

珠江は耳許まで熱してしまつた——彼女はこゝまで來て、邦雄の戀戰を見に來たことをさとつたが、もう逢ふまいと考へてゐる俊一をすぐ前の席に見出さうとは思はなかつた。

しかも紅潮した俊一の隣りに、顏までもヴエールに埋めてゐる白い顏、——怒りの瞳が彼女に据ゑられた。

それは勝美であつた。

「勝さま！」

彼女が挨拶しようとした時、勝美は見ないふりをしてしまつた。珠江はしかたなく座つてしまつたものゝ、うなだれるとさびしくなつた。彼女は勝美のために、邦雄への愛をあきらめたのではなかつたか？

「あゝ！」

彼女はほつと息をついた。

「こなければよかつたのではないか？」

珠江はまだ自分の金銭が、渡邊になつて邦雄に賭けられてゐることを、知らなかつたのである。

俊一はためらつてから、まだ立つてゐる渡邊にさゝやいた。

「渡邊君、入れ代つてくれないか？」

「いゝです。勝さんさへよければ……」

「いゝんだ。……僕は性が合はないんでね……いゝかい？」

「えゝ、どうぞ」

彼等は入り代つてしまつた。

渡邊は勝美に挨拶して、冷淡にあしらはれたが、それも氣にかけずに、さびしさうにほゝゑんでゐた。彼は俊一がゐることを、勝美に對して心づよく思つてゐた。偏僻なく並んで坐つたものゝ、彼はその後勝美と逢ふことを避けてゐたので、かなり窮屈なものを感じてゐたのである。

俊一は顏をあからめて、珠江と並んだ。

「よく、よく、來られましたねえ」

「えゝ、空いてたものですから」

「今日は大敵ですよ」

「えゝ、私！」

彼女も知つてゐた。——新聞で邦雄のことは、かきさがしても、見ずにゐられない彼女なのだ。

「僕は、う、うれしいんです」

「はい」

「ねえ、かうして並んで……大澤君の勝つのを見るんです。勝ちます。勝たせずにはおきません」

「は、はい！」

「あなたの演出は、明日見たから……今日はこれ！」

「あら、そ、さうでしたの」

美しい女性の出現は、觀衆の目をリングよりか、一時そのほとりに惹きつけてゐた。珠江をそれと見わける人もゐたのである。が、鬪ひの前のざわめきは、やがて次の一戰をつたへられると、急に靜まつて、熱したやうな聲が、既に場内を緊めはじめた。